

インターネットを利用したリアルタイム情報

日立市

日立市公式ホームページ

<https://www.city.hitachi.lg.jp/index.html>



防災情報のページ

安全・安心に関する情報を公開しています。

<https://city.hitachi.lg.jp/moshimo/002/index.html>



日立市 WEB版ハザードマップ

インターネット上でハザードマップを確認できます。
<https://www.city.hitachi.lg.jp/moshimo/002/005/p111273.html>



防災情報

茨城県防災・危機管理ポータルサイト

県内の避難発令情報や避難所の開設状況、その他防災に役立つサイトです。

<https://www.bousai.ibaraki.jp/>



気象関連情報(気象庁)

台風情報、気象警報・注意報等、様々な防災情報を確認することができます。

<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#5/36.93/140.618/&element=information&contents=information>



茨城県 土砂災害警戒情報システム

土砂災害警戒情報を補足する詳細な危険度情報を提供します。

<https://www.dosya.kasen.pref.ibaraki.jp/dosya/>



茨城県河川情報システム (雨量・河川水位情報)

最新の雨量・水位情報をお知らせします。

<http://www.kasen.pref.ibaraki.jp/pc/>



ライフライン

東京電力パワーグリッド 停電情報

サービスエリア内で発生している停電情報をお知らせします。

<https://teideninfo.tepco.co.jp/>



東京ガスネットワーク 復旧マイマップ

地震時にガスの供給・復旧状況を確認できます。

<https://fmap.tokyo-gas.co.jp/>



NTT東日本 災害用伝言板(WEB171)

インターネットを利用して被災地の方の安否確認を行う伝言板です。

<https://www.ntt-east.co.jp/saigai/web171/>



日立市企業局

日立市企業局のホームページです。

<https://www.city.hitachi.lg.jp/kigyo/index.html>



市の情報提供サービス

Twitter 「日立市の防災と天気」

https://twitter.com/HitachiCity_BT



Facebook 「日立市の防災と天気」

<https://www.facebook.com/hitachicity.bousai.tenki>



日立市公式地域情報アプリ 「ひたちナビ」

iPhoneをお使いの方
<https://apps.apple.com/jp/app/id1465084464>

Androidをお使いの方
<https://play.google.com/store/apps/details?id=jp.co.ryobi.CityHitachi&hl=ja>



防災行政無線

防災無線確認ダイヤル

防災行政無線が聞き取りにくいときは、「防災無線確認ダイヤル」へ電話をかけると、過去の防災行政無線で放送された内容を確認できます。

0294-22-6131



総合防災マップ

HITACHI CITY PREVENTION MAP

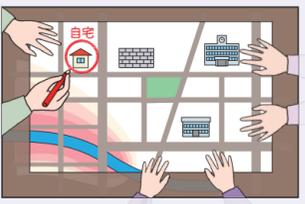
日立市総合防災マップの使い方

この防災マップには、普段から災害リスクを認識したうえで、自分が知っておくべき「危険箇所」「緊急避難場所・指定避難所」「避難経路」「家族との連絡方法」などの必要な情報を書き込んで、「自分だけのハザードマップ」を作成しましょう。

防災情報

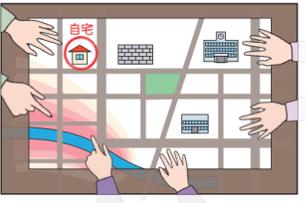
- ### 1 自宅の位置を確認する

まず、自宅の位置に印をつけましょう。



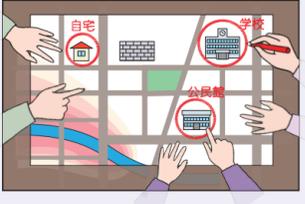
チェック
- ### 2 浸水や土砂災害などの危険区域を確認する

「地区別防災マップ」を見て、自宅周辺が災害の危険区域になっていないか確認しましょう。



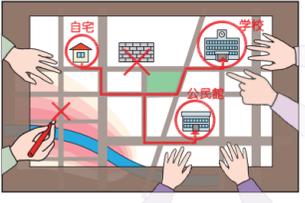
チェック
- ### 3 避難する場所を災害ごとに確認する

たとえば、津波のときや、土砂災害のときには危険なため使用できない緊急避難場所などがあります。41・42ページの「避難施設一覧」で、災害ごとの緊急避難場所・指定避難所を確認し、どのような災害が起きたときにはどこに避難するか、決めておきましょう。



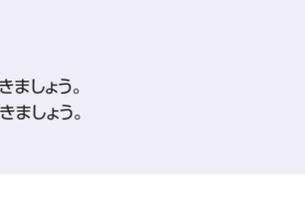
チェック
- ### 4 安全な避難経路を考える

3で決めた緊急避難場所・指定避難所までの経路を考えましょう。早めに避難するのが一番ですが、すでに荒天となってしまった場合は「浸水の危険のある場所」を避ける、地震による避難の場合は「ブロック塀等の危険な場所を避ける」など、安全な経路を見つけておきましょう。



チェック
- ### 5 避難について家族や近所の人と話し合う

「周辺の危険箇所」「避難する場所」「避難経路」などについて、家族や近所の人と話し合っておきましょう。いざというときには、慌てず、声を掛け合って、最善の避難行動がとれるように心構えしておきましょう。



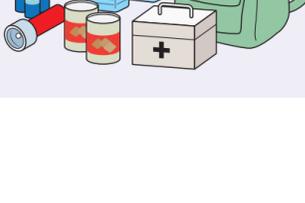
チェック
- ### 6 自分たちの目で避難経路を確認する

緊急避難場所・指定避難所までの経路を、実際に家族や近所の人たちと歩いてみましょう。マップ上では気が付かなかった危険箇所や注意点など記録しておきましょう。



チェック
- ### 7 避難時の持ち出し品などを準備しておく

44ページの「非常持出品」を参考に、避難するときの持ち出し品など、必要なものを準備しておきましょう。



チェック

※各ハザード情報は、一定の条件に基づき予測されたものであり、実際の災害時は想定を超える可能性があります。

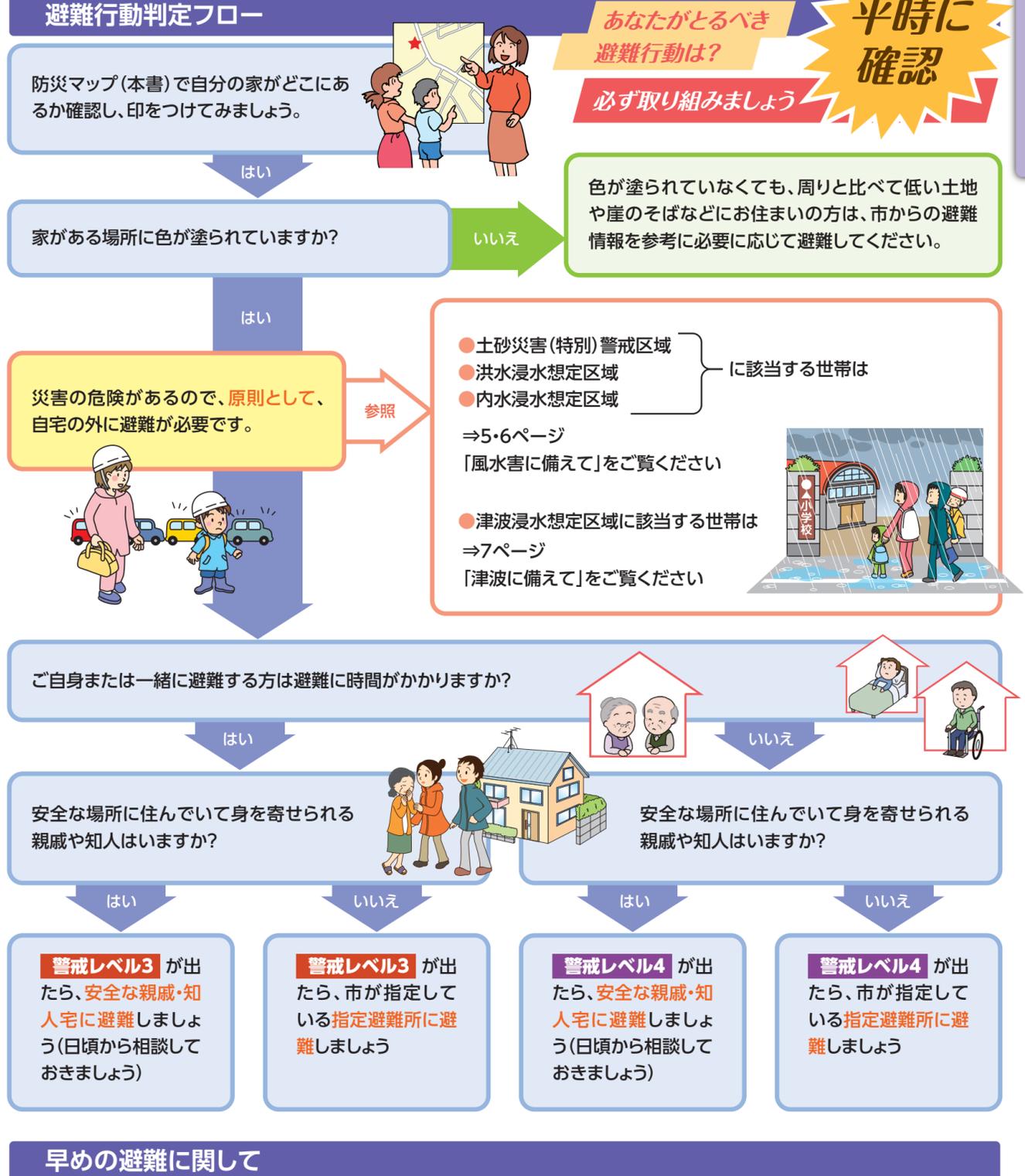
避難行動判定フロー

台風・豪雨時に備えて防災マップと一緒に「避難行動判定フロー」を確認しましょう

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自宅周辺の災害リスクととるべき行動を確認しましょう

平時に確認

あなたがとるべき避難行動は？必ず取り組みましょう



災害時には早めの避難が大切です。自分や家族の身を守るために、避難情報等の発令、避難所の開設の有無に関わらず、危険だと判断した場合には、ご自身が安全だと思う場所に早めに避難しましょう。

防災情報

避難に関する情報

一部気象庁ホームページから引用

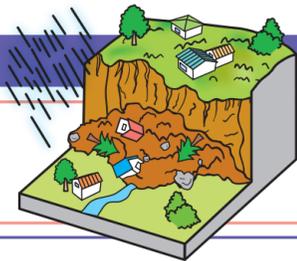
市が発令する避難情報と国や県が発令する防災気象情報

洪水や土砂災害、河川の氾濫などの際に、5段階の「警戒レベル」を用いて、避難情報を発令します。
警戒レベル3[高齢者等避難]や警戒レベル4[避難指示]が発令された際には、危険な場所から速やかに避難しましょう。



特別警報

- 「特別警報」とは、警報の発表基準をはるかに超える大雨や、大津波等が予想され、重大な災害の起こるおそれが高く高まっている場合に発表し、最大級の警戒を呼びかけるものです。
- 特別警報が発表された場合、お住まいの地域は数十年に一度の、これまでに経験したことのないような、重大な危険が差し迫った状況にあります。



特別警報の発表基準

現象の種類	基準
大雨	台風や集中豪雨により、数十年に一度の降雨量となる大雨になると予想される場合 特に警戒すべき事項を標題に明示して「大雨特別警報(土砂災害)」、「大雨特別警報(浸水害)」又は「大雨特別警報(土砂災害、浸水害)」のように発表します。
暴風	暴風が吹くと予想される場合
高潮	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により 高潮になると予想される場合
波浪	高波になると予想される場合
暴風雪	雪を伴う暴風が吹くと予想される場合
大雪	数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合
津波	高いところで3メートルを超える津波が予想される場合(大津波警報を特別警報に位置づける)
火山噴火	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が予想される場合(噴火警報(噴火警戒レベル4以上)及び噴火警報(居住地域)*を特別警報に位置づける)
地震(地震動)	震度6弱以上の大きさの地震動が予想される場合(緊急地震速報(震度6弱以上)を特別警報に位置づける)

*噴火警戒レベルを運用している火山では「噴火警報(居住地域)」「噴火警戒レベル4又は5)を、噴火警戒レベルを運用していない火山では「噴火警報(居住地域)」(キーワード:居住地域嚴重警戒)を特別警報に位置づけています。

地域の防災対策

自助・共助・公助の連携(相互協力)

自助

自分や家族

自らの身は自ら守ることで。主に事前の防災対策から、他人に頼れない発災時に、災害での命を左右するのは、自助努力にかかっています。

- 家具の固定、住まいの耐震化
- 飲料水、食料品の備蓄 など

共助

隣近所、自主防災組織、防災士、災害ボランティアなど

個人や一家庭の力だけではどうにもならない状況において隣近所同士で助け合うことです。特に、発災直後から避難や後片付けの段階では、必要となります。

- 防災訓練の実施
- 地域に住む要配慮者に対する支援 など

公助

市区町村、都道府県、国、消防、警察、自衛隊など

市民の力では、どうにもならない状況での最後の受け皿といえるでしょう。被災生活から、仮設住宅や給付金など、生活再建段階で力となります。

- 防災対策の推進
- 自助、共助に対する支援 など

避難時の感染症対策

一部内閣府(防災担当)ホームページから引用
一部消防庁ホームページから引用

新型コロナウイルス感染症が収束しない中でも、災害時には、**危険な場所にいる人は避難することが原則です**

「自らの命は自ら守る」意識を持ち、適切な避難行動をとりましょう

知っておくべき5つのポイント

避難とは「難」を「避」けること。
安全な場所にいる人は避難所に行く必要はありません。

避難先は、小中学校・集会所などで市や地域が開設する避難所だけではなく、安全な親戚・知人宅や安全な宿泊施設に避難することも考えてみましょう。

マスク、消毒液、体温計などの衛生用品は、できるだけ自ら携行してください。

市が指定する緊急避難場所・指定避難所が変更・増設されている可能性があります。災害時には市ホームページ等で確認してください。

豪雨時の屋外の移動は車も含め危険です。また、やむをえず車中泊をする場合は、浸水しないよう周囲の状況等を十分確認してください。

風水害に備えて

大雨情報をキャッチ!

こんなときのわが家の安全対策

大雨注意報・警報・特別警報(浸水害・土砂災害)の発表基準

大雨注意報

大雨によって災害が起こるおそれがあると予想される場合

大雨警報

大雨によって重大な災害が起こるおそれがあると予想される場合

大雨特別警報

台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、若しくは数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合

上記に併せて、洪水注意報・洪水警報が発令されます。

水害時の心得

被害の軽減

扉の下の隙間から汚水が入ってくるので、「土のう」や板などで前面を囲み、タオルで隙間をふさぎます。また、ポリタンクなど軽い物は事前に屋内に移しましょう。



避難所までの移動

風雨が激しくなる前に車か徒歩で避難しましょう。風雨が激しくなったからの車での避難は、歩行避難者・緊急車両の妨げになるばかりでなく、洪水による水没の危険もあるので車の利用は避けましょう。



危険なところには近寄らない

切れた電線のそばなど、危険な場所に近寄らないようにしましょう。また、氾濫水には汚水が混ざっているため、子供などがさわらないように気をつけましょう。



動きやすい格好で

動きやすい服装で、軍手をはめ、ヘルメットがある場合はかぶり、はき物は脱げにくいものを選びましょう。長靴は水が入ると足を取られるので避けましょう。レインコートは上下が分かれているタイプが目立つ色のものがよいでしょう。



水面下は危険です。2人以上で避難を

浸水した場所を歩く時は、長い棒を杖がわりにして、マンホールや側溝がないか水面下の安全を確認し、2人以上での行動を心がけましょう。



歩ける深さ男性約70cm、女性約50cm

洪水の場合、歩ける深さは男性で約70cm、女性で約50cmまで。それ以上になったら高い場所で救助を待ちましょう。



川の氾濫等

雨量の増加によってもたらされる氾濫には、川から水があふれたり堤防が決壊して起こる「外水氾濫」と、街中の排水が間に合わず、地下水路などからあふれ出す「内水氾濫」の2タイプがあります。

外水氾濫

大雨の水が川に集まり、川の水かさが増し堤防を超える、あるいは堤防を決壊させて川の水が外にあふれておきる洪水。氾濫が起きると一気に水かさが増しますので、最大の注意が必要。

内水氾濫

その場所に降った雨水や、周りから流れ込んできた水はけきれず溜まって起きる洪水。的確なタイミングで警報や避難指示を出すのが難しいため、注意が必要。



土砂災害の種類

土砂災害は大きく分けてがけ崩れ・地すべり・土石流の3種類があります。

がけ崩れ

地面にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、弱くなった斜面が突然崩れ落ちる。日本で最も多い土砂災害で、人家の近くでも発生するため、逃げ遅れて犠牲となる人も多い。



がけ崩れの前兆現象

- がけからの水がにごる
- 地下水やわき水が止まる
- 斜面がひび割れ、変形がある
- 小石が落ちてくる
- がけから音がする
- 異様なにおいがする

地すべり

脆弱な地質の土地に豪雨が降り、ゆるくなった斜面の一部が地下水の影響と重力で下方へ移動する現象。一度に広範囲で発生するために、住宅や道路などに大きな被害をおよぼす。



地すべりの前兆現象

- 地面にひび割れができる
- 井戸や沢の水がにごる
- がけや斜面から水がふき出す
- 家やよう壁に亀裂が入る
- 家やよう壁、樹木、電柱が傾く

土石流

谷や斜面にたまった土や石、砂などが、大雨による水と一緒に一気に流れ出す。強大な威力と圧倒的なスピードで、進行方向にあるものを次々とのみ込み、壊滅させていく。



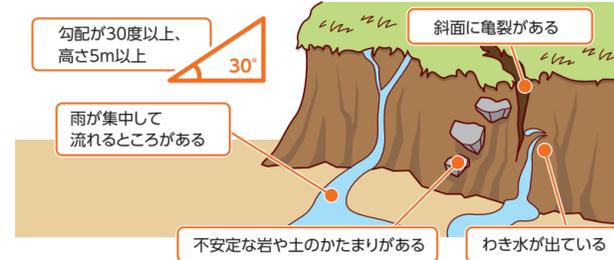
土石流の前兆現象

- 山鳴りがする
- 雨が降り続けているのに、川の水位が下がる
- 川の水がにごったり、流木が混ざったりする

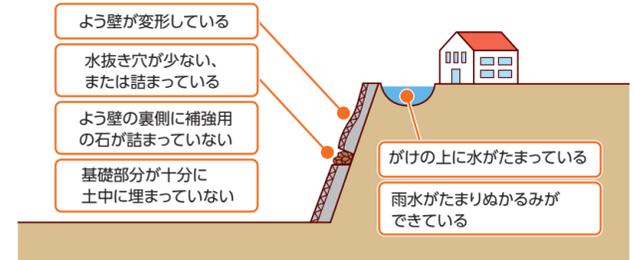
危険箇所をチェックしよう

勾配が30度以上あるがけは、大雨により崩れる危険性が高い場所です。また、がけや盛り土の崩落を防ぐためのよう壁も、その構造や築年数の経過によっては崩れる危険性があります。日ごろから家の周囲をよく見て、危険箇所がないかチェックしておきましょう。

こんながけに注意!!



こんなよう壁に注意!!



土砂災害警戒情報とは

大雨警報(土砂災害)が発表されている状況で、命に危険を及ぼす土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況となったときに警戒を呼びかける情報で、茨城県と気象庁が共同で発表しています。周囲の状況や雨の降り方にも注意し、土砂災害警戒情報等が発表されていなくても、危険を感じたら、躊躇することなく自主避難をしましょう。

土砂災害警戒区域 (イエローゾーン)

住民等の生命又は身体に**危害が生ずるおそれ**があると認められる土地の区域

土砂災害特別警戒区域 (レッドゾーン)

住民等の生命又は身体に**著しい危害が生ずるおそれ**があると認められる土地の区域

気象庁 <https://www.jma.go.jp/bosai/risk/>

避難行動のポイント

- 1) 上記の土砂災害の事象に注意し、早めの避難をする。
- 2) がけ崩れや土石流の起こる方向に対して横方向に避難(①水平避難)する。
- 3) 夜中や大雨の中など外へ避難を行うのが危険と感じる時は、自宅2階以上の山の反対側の部屋など頑丈な建物の上階へ避難(②垂直避難)することも考慮する。
- 4) 記録的短時間大雨情報が発表された場合は、早めに避難を行う。
- 5) 土砂災害警戒情報が発表された場合は、すぐに避難を行う。



津波に備えて

一部気象庁ホームページから引用

「巨大」という言葉を見たり聞いたりしたら、東日本大震災クラスの津波が来るとして、直ちにより高い場所に避難しましょう！



津波警報・注意報の分類と、とるべき行動

	発表される津波の高さ		とるべき行動	想定される被害
	数値での発表 (津波の高さの予想区分)	津波の規模の 表現		
大津波警報	10m超 (10m<予想高さ)	巨大	防災マップの津波浸水想定区域内の住民や沿岸部や川沿いにいる人は、直ちに高台など安全な場所へ避難してください。津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれる。
	10m (5m<予想高さ≤10m)			
	5m (3m<予想高さ≤5m)			
津波警報	3m (1m<予想高さ≤3m)	高い	ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難してください！	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生する。人は津波による流れに巻き込まれる。
津波注意報	1m (20cm≤予想高さ≤1m)	(表記しない)	海の中にいる人は、直ちに海から上がって、海岸から離れてください。津波注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近付いたりしないでください。	海の中では人は速い流れに巻き込まれる。養殖いかだが流失し小型船舶が転覆する。

※津波警報等の発表時には、各区分の高い方の値を予想される津波の高さとして発表します。

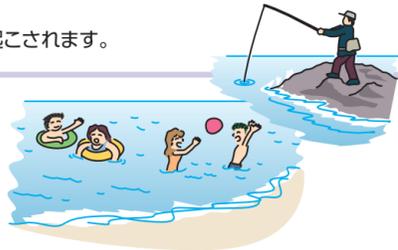
避難時の注意事項

海底で地震が起きると、海底の地形が急に変わり、海水が大きく押し上げられたり沈み込んだりするため、津波が起きることがあります。この波の高さは水深が浅くなるにつれて増し、湾内に入るとさらに高くなります。なお、津波は日本近海の地震のみでなく、遠方の国で発生した地震や火山島の噴火によっても引き起こされます。

テレビ、ラジオ、防災行政無線などから新しい情報を！



津波注意報でも、海水浴や磯釣りは危険！直ちに避難



津波は繰り返しやってくる。警報、注意報が解除されるまで気をゆるめない！

強い地震、また弱い地震でも長い時間ゆっくりとした揺れの場合は、直ちに安全な場所へ避難！



周囲の状況に応じて慌てずに身の安全を確保し、避難行動をとりましょう。

直ちに高台に避難し、津波情報をよく確認しましょう。

※津波は2度、3度とやってきます。また、1度目より大きな津波が来ることもありますので波が引いたからといって海岸付近に戻ってはいけません。



近くに高台がないときは頑丈な高い建物に避難しましょう。



自動車の利用はやめてなるべく徒歩で移動しましょう。



津波てんでんこ

津波被害の多い三陸地方の教訓。津波が起きたら、家族と一緒にいなくても気にせず、てんでんばらばらに高台に逃げ、まずは自分の命を守ること。※各々が最適な行動をとるためには、日頃から家庭や地域でよく話し合い、訓練することが重要です。

地図面	各地域海岸で予測される影響開始時間・最大遡上高の説明
影響開始時間	地震発生から、津波により、初期水位からの変化が±20cm(海辺にいる人々の人命に影響が出るおそれのある水位変化)生じるまでの時間
遡上高	津波が陸上に侵入し、這い上がる高さで、津波の高さの2倍から4倍の高さになることがあります。

地震・火災に備えて

地震発生!

そんなときどうする

地震発生時の時間経過別行動マニュアル (室内にいた場合)



1~2分

最初の大きな揺れは約1分間

- まず、自分の身を守る(机の下に隠れたり、手近な座布団などで頭を保護する。)
- すばやく火の確認(揺れが激しいときは無理をしない。)
- ドアや窓を開けて逃げ道を確認
- 室内に居ることが危険だと判断した場合、すばやく屋外の安全な場所に一時避難する



揺れがおさまったら

- 火元を確認(火が出たら、落ち着いて初期消火。※初期消火の限界は炎が天井に燃え移る前まで。)
- 家族の安全を確認(倒れた家具の下敷きになっていないかを確認する。)
- 靴などをはく(ガラスの破片の散乱から足を守るため、靴や厚手のスリッパをはく。)
- 避難するときは、屋根瓦の落下やブロック塀・自動販売機などの転倒に注意

3分

みんなの無事を確認 火災の発生を防ぐ

隣近所に声をかけよう

- 隣近所で助け合う(要配慮者の安全確保をする。)
- 行方不明者はいないか
- ケガ人はいないか

出火防止・初期消火

- 初期消火
- 消火器を使う
- 座布団、毛布、大きめのタオルなどの活用
- 漏電・ガス漏れに注意(ガスの元栓・電気ブレーカーを切る。)
- 余震に注意



5分

ラジオなどで正しい情報を

- 大声で知らせる
- 救出・救護
- 防災機関、自主防災組織の情報を確認
- デマにまどわされないように
- 避難時に車は原則として使用しない
- 電話の使用は控える

10分

協力して消火活動、救出・救護活動を

- 水、食料は蓄えているものでまかなう(最低でも3日間、できれば1週間分備蓄しておく。)
- 災害情報・被害情報の収集
- 無理はしない
- 風呂水を貯めおきしておく(ただし、乳幼児のいる家庭では浴槽への転落防止のため工夫を。)
- 助け合いの心が大切
- こわれた家には入らない
- 引き続き余震に注意



住宅火災 いのちを守る10のポイント

一部消防庁ホームページから引用

4つの習慣

- 1 寝たばこは絶対にしない、させない
- 2 ストープの周りに燃えやすいものを置かない
- 3 コンロを使うときは火のそばを離れない
- 4 コンセントはほこりを清掃し、不必要なプラグは抜く

6つの対策

- 1 出火防止
- 2 早期覚知
- 3 延焼拡大防止
- 4 初期消火
- 5 早期避難
- 6 地域の助け合い

火災の発生を防ぐために、ストーブやコンロ等は安全装置の付いた機器を使用する
 火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する
 火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは、防災品を使用する
 火災を小さいうちに消すために、消火器等を設置し、使い方を確認しておく
 お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく
 防火防災訓練への参加、個別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う

原子力災害に備えて

原子力災害への対応

日立市周辺には、東海村や那珂市に、原子力施設が複数あり、施設ごとに**原子力災害対策重点区域**が定められています。本市はこの施設のうち、日本原子力発電株式会社の**東海第二発電所**、日本原子力研究開発機構の**JRR-3(試験研究用等原子炉施設)**及び**再処理施設**の3施設の原子力災害対策重点区域に含まれていることから、これらの施設で災害が発生した場合には、放射線による被ばくや汚染から身を守るための行動(防護措置)を採る必要があります。今回は、影響範囲が市全域に及び東海第二発電所にて、災害が発生した場合に備えた防護措置についてお知らせします。JRR-3及び再処理施設で災害が発生した際の防護措置等については、以下に記載している日立市ホームページ内の「日立市屋内退避及び避難誘導計画を策定しました」(<https://www.city.hitachi.lg.jp/moshimo/002/002/p097724.html>)をご確認ください。

原子力災害対策重点区域等

原子力災害対策重点区域	日立市の対象地区、学区	避難先(福島県内17市町村)
PAZ 予防的防護措置を準備する区域 東海第二発電所からおおむね5km圏	坂下、久慈、大みか	いわき市、田村市、小野町
UPZ 緊急防護措置を準備する区域 東海第二発電所からおおむね5~30km圏	塙山、大久保、大沼、河原子、水木、金沢、油縄子、諏訪、成沢、会瀬、助川、宮田、中里、滑川、中小路、仲町、田尻、日高、豊浦、十王	福島市、会津若松市、郡山市、須賀川市、伊達市、喜多市、二本松市、本宮市、桑折町、国見町、大玉村、磐梯町、猪苗代町、三春町

東海第二発電所からの距離の目安

東海第二発電所からの距離を記した地図です。



防護措置の判断基準

1 放射性物質が放出される前の防護措置です。

以下の表のとおり、全面緊急事態で、PAZ内の方は避難を実施、UPZ内の方は、屋内退避を実施します。

放射性物質放出前

事態の進展	PAZ(5km圏)の防護措置	UPZ(PAZ以外)の防護措置
警戒事態(AL) (EAL1※1) 東海村で震度6弱の地震等	●自ら避難することが困難な住民等は避難準備を実施	●市などからの情報に注意
施設敷地緊急事態(SE) (EAL2※1) 原子炉冷却材の漏れい等	●住民等は避難準備を実施 ●自ら避難することが困難な住民等は避難を実施	●生徒、児童・園児は保護者への引渡しを開始 ●住民等は屋内退避の準備
全面緊急事態(GE) (EAL3※1) 原子炉を停止する全ての機能が喪失した場合等	●住民等は避難を開始(国等の指示により安定ヨウ素剤を服用) ●避難よりも屋内退避を優先する場合あり	●住民等は屋内退避をしながら、避難準備を実施

放射性物質が環境へ放出 = 原子力災害

※1: EAL(Emergency Action Level)とは…緊急時活動レベル。避難、屋内退避等の防護措置を実施する判断基準

2 放射性物質が放出された後の防護措置です。

UPZ内の方は、屋内退避を継続し、空間放射線量率の緊急時モニタリング結果を基に特定された地区ごとに避難等を実施します。

放射性物質放出後

UPZでは、空間放射線量率の緊急時モニタリング結果に基づき、追加の防護措置を実施



防護措置

OIL1 ※2	500マイクロシーベルト/時間※3	1日以内に 避難 を実施
OIL2 ※2	20マイクロシーベルト/時間※3	1週間程度以内に 一時移転(避難) を実施
(例)放射性セシウムの基準値※4		基準値を超えるものにつき、摂取制限を迅速に実施
OIL6 ※2	●飲料水・牛乳など 200Bq/kg ●野菜・肉・魚など 500Bq/kg	
OIL4 ※2	ベータ線:40,000カウント/分※5	基準を超える避難者の簡易除染を実施

※2: OIL(Operational Intervention Level)…避難等の防護措置の実施を判断するための放射線モニタリング等の計測の基準 ※3: 地上1mで計測した場合の空間放射線量率 ※4: 核種及び飲食物により基準値を設定 ※5: 皮膚から数cmでの検出器の計数率

屋内退避の指示が出たら

屋内退避の効果

屋内に退避すると、屋根や壁で屋外からの放射線がさえぎられるため、外部被ばくが低減できます。また、建物が屋内への放射性物質の入り込みを防止するため、放射性物質の吸い込みによる内部被ばくを低減させる効果もあります。屋内退避には、自宅などの一般家屋に入るものと学校などのコンクリート建屋の中に入るものがあります。コンクリート建屋は木造家屋よりも放射線をさえぎる能力が高く、より高い防護効果が期待できます。



屋内退避で取るべき行動

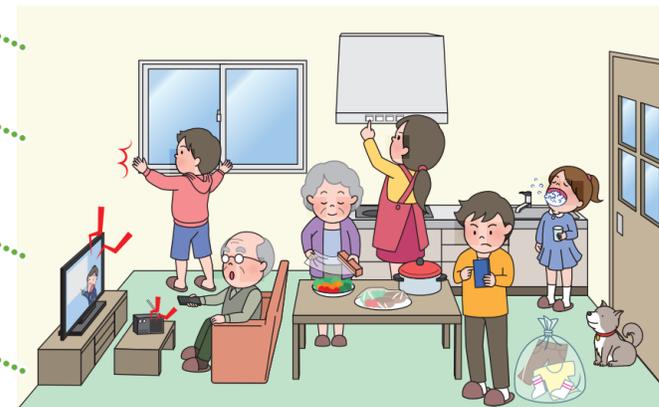
屋内退避の指示が出たら、すみやかに自宅などの建物内に入り、ドアや窓を閉めて次の対策を講じてください。

ドアや窓を全部閉めます

換気扇やエアコン(外気を取り入れないエアコンは使用可)は止めます

戸別受信機・屋外放送塔や広報車、テレビやラジオで伝えられる情報に注意してください

ホームページやひたちナビで避難手段、避難先を確認してください



外から帰ってきた人は、うがいのほか、手や顔を洗きましょう

ペットは屋内に入れてください

屋内の食品にはふたをしたり、ラップをかけてください

衣服を着替えましょう(着替えた衣服はビニール袋に保管し、他の衣服と区別しておきましょう)

避難及び一時移転の指示が出たら

避難及び一時移転の効果

避難は、空間放射線量率が高かったり、高くなるおそれがある地点から速やかに離れるため緊急で実施されます。また、一時移転は、緊急の避難が必要な場合と比べて空間放射線量率等は低い地域ではあるが、日常生活を続けた場合の無用な被ばくを低減するため、一定期間のうちに、その地域から離れるために実施されます。



避難等の際に取るべき行動

避難等の指示が出たら、まず指示の内容をよく確認し、あわてず落ち着いて行動してください。また、あらかじめ指定された避難経路を通り、自家用車等で避難します。

テレビやラジオ、広報車や戸別受信機、屋外放送塔などで正確な情報を把握します

薬や貴重品を持って、持ち物は最小限に抑え、帽子や上着、長ズボン、マスクを着用する(体表面の露出をできる限り少なくすることがポイントです)

ガスの元栓を閉め、電気器具のコンセントを抜きます。戸締りを忘れずに

原則、自家用車で避難します(できる限り近所の方と乗り合いで)

自家用車で避難できない方は、徒歩で一時集会所へ向かい、バスで避難します

屋外での簡単な内部被ばく防護

マスクをしたり、水でぬらしたハンカチやタオルを固くしぼって口や鼻を覆うことで、放射性物質の吸い込みによる内部被ばくを低減させる効果があります。



避難のポイント

1 避難手段について (PAZ、UPZ共通)

- 避難等の指示を受けた地区から避難等を実施していただきます。
- 避難手段の原則は「自家用車」です。ご家族やご近所の方と乗り合いでの避難をお願いします。
- 自家用車で避難ができない方は、各地区で定められた一時集会所に準備する「バス」での避難をお願いします。

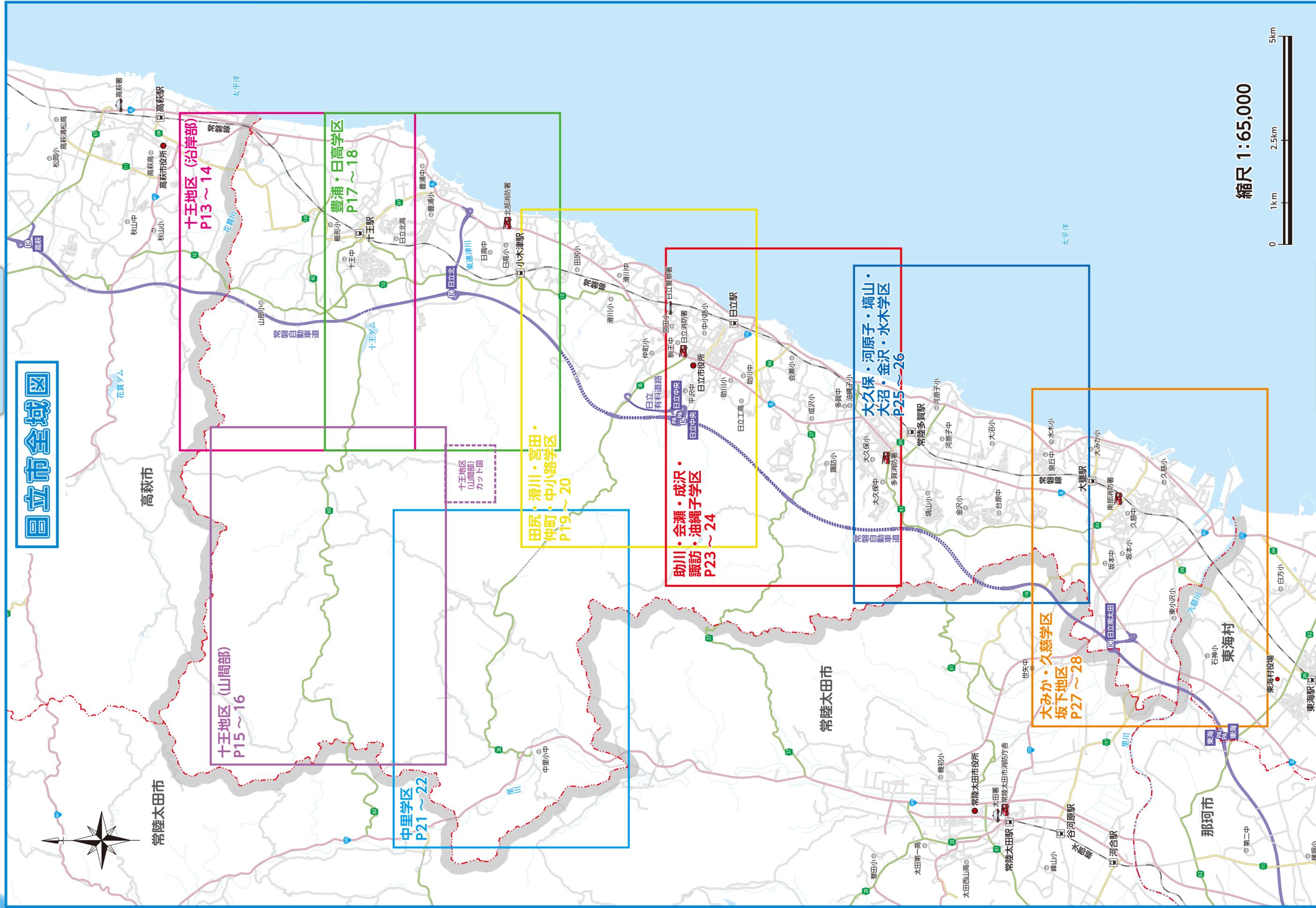
2 安定ヨウ素剤の服用について (PAZ、UPZ共通)

- 安定ヨウ素剤とは避難の際に適切なタイミングで服用することにより、放射性ヨウ素による甲状腺の内部被ばくを低減する薬剤です。
- 特に年齢が低いほど放射性ヨウ素による健康リスクは高くなります。
- 国、県又は市から避難の際に服用の指示を出しますので、服用にあたっては必ず指示に従うようお願いします。

3 避難遅延時検査及び簡易除染について (UPZのみ)

- UPZ内の避難者は、放射性物質放出後に避難するため、汚染等の有無を確認する必要があることから、避難経路上で検査を受けていただきます。この検査は、汚染の拡大防止のためにも不可欠であり、必ず実施しなければならないものです。
- 検査の結果、汚染が確認されなければ検査済証を受け取り、避難します。万が一、国の定める基準値を超えた場合には、簡易除染等を行い、再度検査を行います。
- 避難先では、検査を受検したことが確認できる検査済証の提示を求められることがありますので、受け取ったら大切に保管してください。

日立市全域図



縮尺 1:65,000



十王地区防災マップ 《沿岸部》

凡例

- 緊急避難場所
- 指定避難所
- 要配慮者利用施設
- 応急給水拠点
- 災害協力井戸
- 屋外放送塔
- 警察・交番・駐在所
- 消防署・出張所
- 消防分団
- 支所
- 60m 海拔
- 水位観測所
- 東海第2原発からの距離
- 学区・地区界

土砂災害警戒区域

特別警戒区域（急傾斜）	
警戒区域（急傾斜）	
警戒区域（土石流）	
警戒区域（土石流）	
警戒区域（地すべり）	

河川浸水想定区域

本邦法に基づき、想定最大規模降雨（100年に1度の雨）により浸水が想定される区域を示したものです。
【想定最大規模降雨】
十王川：24時間681.9ミリ（平成29年8月推定）
花賀川：24時間684.4ミリ（平成29年8月推定）
十王川・花賀川

家屋倒壊等氾濫想定区域	
氾濫流	
河岸浸食	

津波浸水想定区域

最大クラスの津波が襲来条件下において発生した場合に浸水が想定される区域と水深を表示したものです。
【平成24年8月公表】

10.0m～20.0m未満	
5.0m～10.0m未満	
2.0m～5.0m未満	
1.0m～2.0m未満	
0.3m～1.0m未満	
0.3m未満	

東日本大震災における津波による浸水範囲（実績）

各地域海岸で予測される影響開始時間・最大遡上高

地域海岸名	
影響開始時間	
最大遡上高	

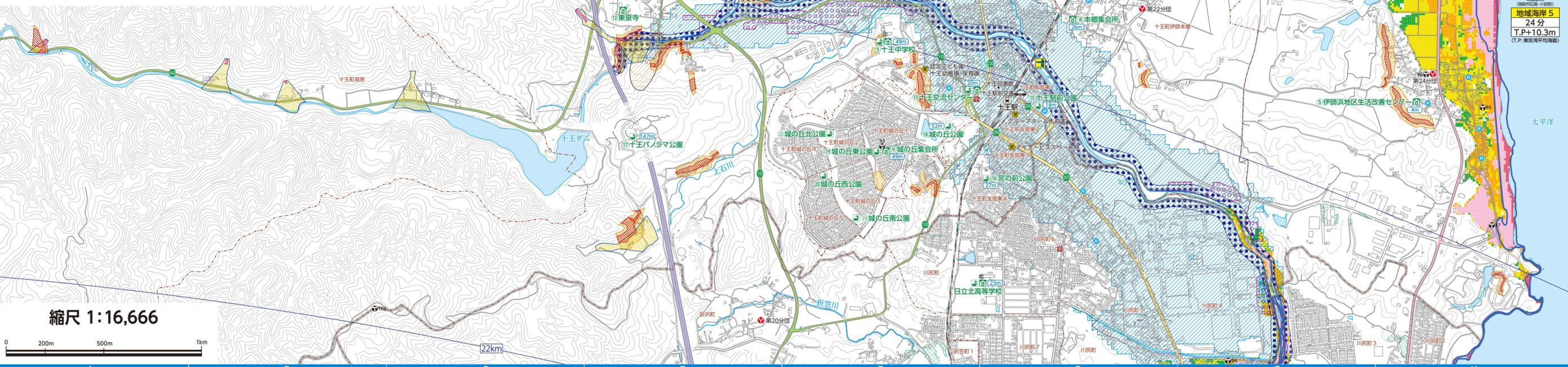
内水浸水想定区域

想定最大規模降雨（100年に1度の雨）により、既存の排水施設で処理できない内水が氾濫した場合に、50cm以上の浸水が想定される区域を示したものです。
【想定最大規模降雨】1時間153.3ミリ

内水浸水エリア（50cm以上）	
-----------------	--



施設名	避難所	避難場所	座標
① 櫛形小学校	○	○	F-4
② 山部小学校（土砂災害時使用不可）	○	○	D-2
③ 十王中学校	○	○	E-4
④ 山部地区生活改善センター	○	○	D-2
⑤ 伊師浜地区生活改善センター	○	○	H-4
⑥ いぶき台団地集会所	○	○	G-2
⑦ 伊師町田園都市センター	○	○	G-3
⑧ 本郷集会所	○	○	F-4
⑨ 城の丘集会所	○	○	E-5
⑩ 十王スポーツ広場	○	○	E-3
⑪ 十王総合健康福祉センター	○	○	E-3
⑫ 東泉寺	○	○	D-4
⑬ 十王交流センター（洪水時使用不可）	○	○	E-4
⑭ いぶき台団地中央公園	○	○	G-2
⑮ 十王駅前公園	○	○	F-4
⑯ 宮の前公園	○	○	F-5
⑰ 十王パノラマ公園	○	○	D-4
⑱ 城の丘公園	○	○	E-4
⑲ 城の丘東公園	○	○	E-5
⑳ 城の丘西公園	○	○	E-5
㉑ 城の丘南公園	○	○	E-5
㉒ 城の丘北公園	○	○	E-4
㉓ 愛宕神社	○	○	G-3



地域海岸5
24分
T.P+10.3m
(T.P: 東京湾平均海面)

縮尺 1:16,666



十王地区防災マップ 《山間部》

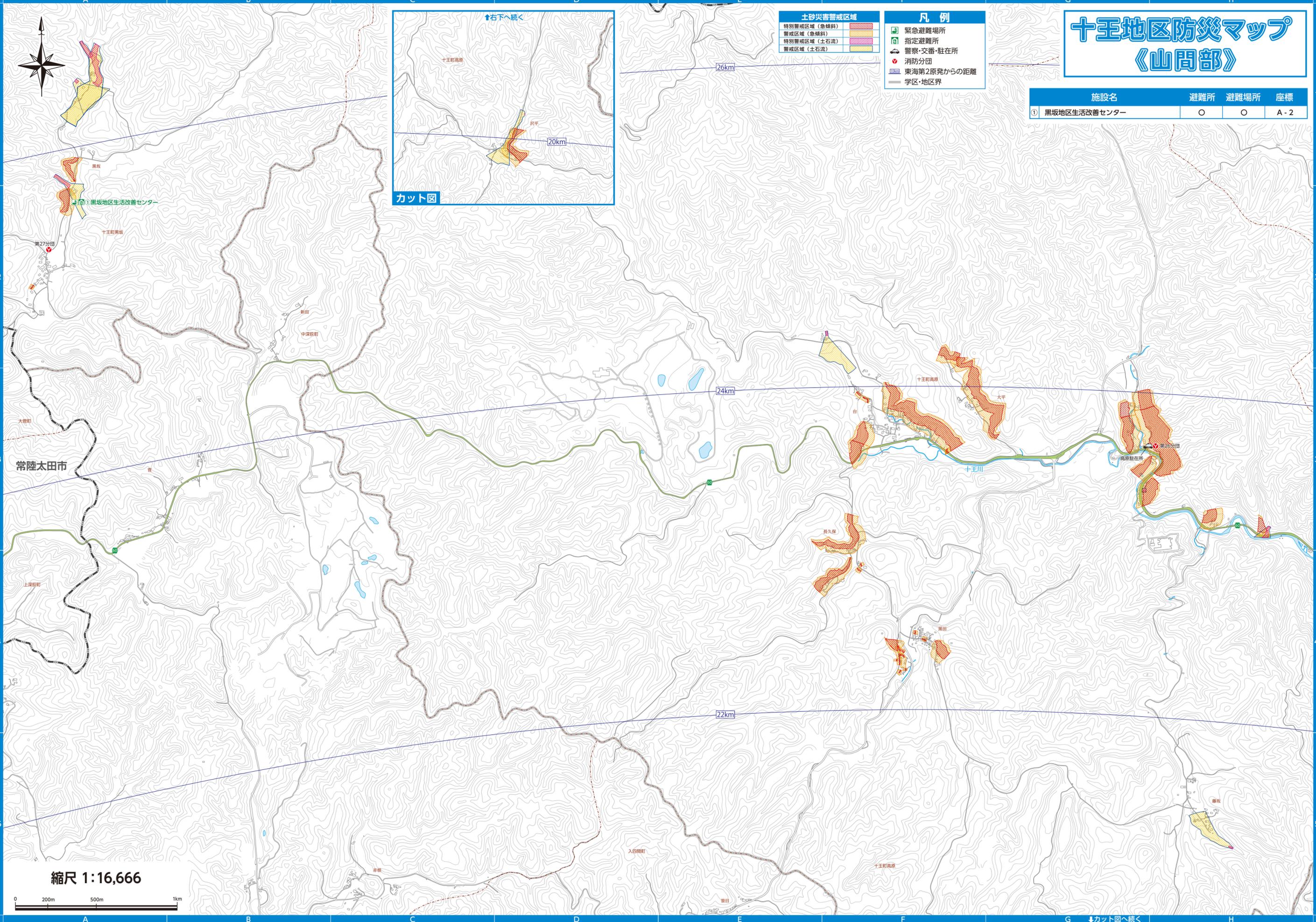
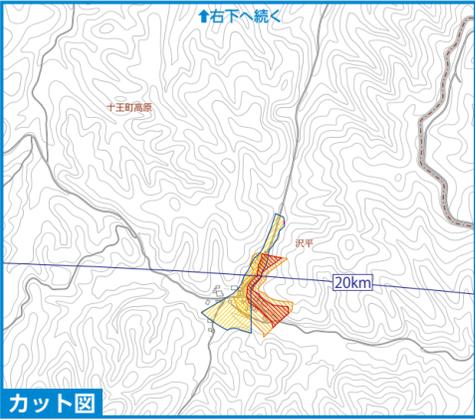
土砂災害警戒区域

特別警戒区域（急傾斜）	
警戒区域（急傾斜）	
特別警戒区域（土石流）	
警戒区域（土石流）	

凡例

	緊急避難場所
	指定避難所
	警察・交番・駐在所
	消防分団
	東海第2原発からの距離
	学区・地区界

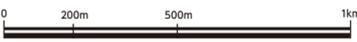
施設名	避難所	避難場所	座標
① 黒坂地区生活改善センター	○	○	A-2



地区別防災マップ

地区別防災マップ

縮尺 1:16,666

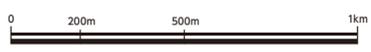
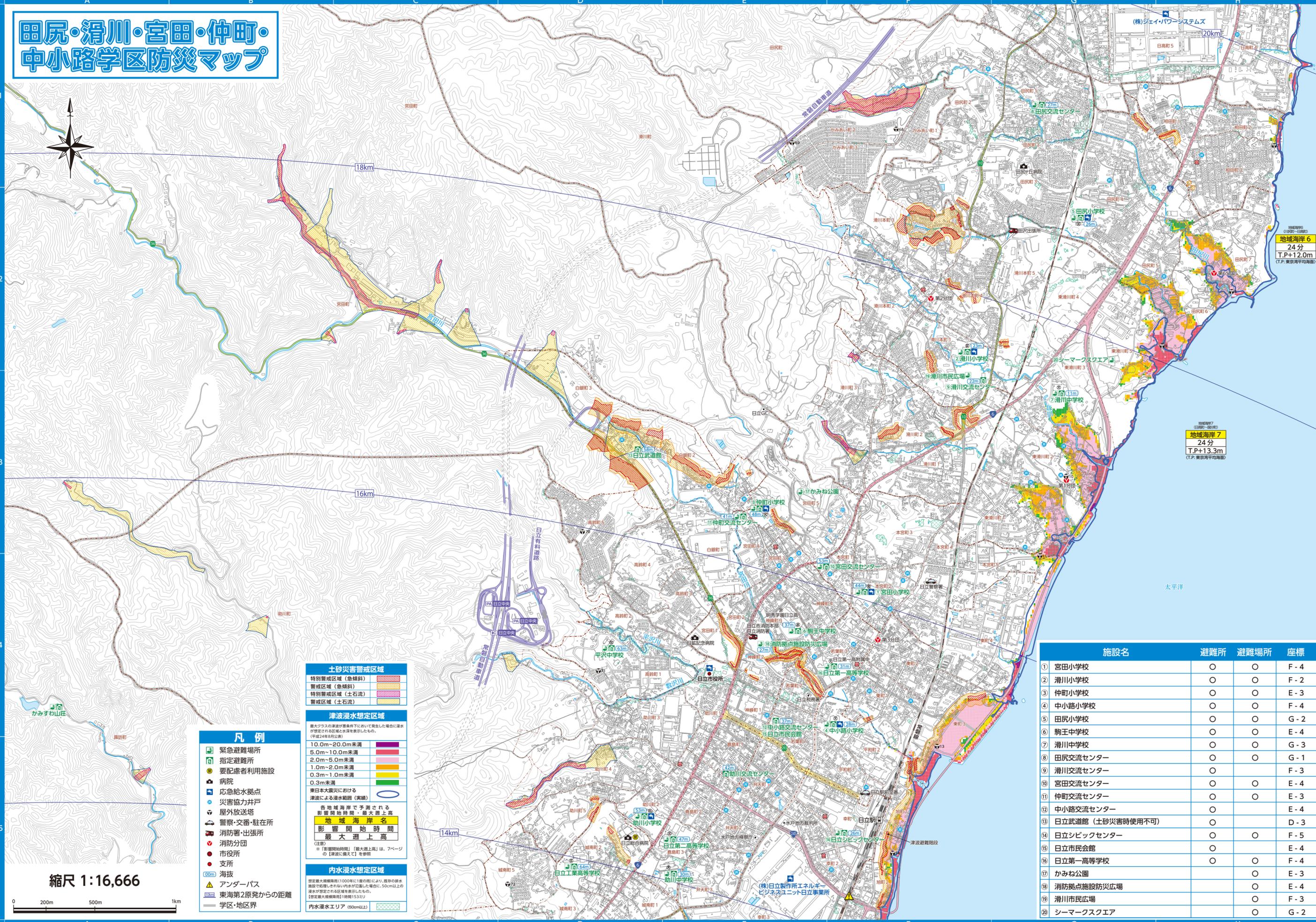


↓カット図へ続く

田尻・滑川・宮田・仲町・中小路学区防災マップ

地区別防災マップ

地区別防災マップ



- ### 凡例
- 緊急避難場所
 - 指定避難所
 - 要配慮者利用施設
 - 病院
 - 応急給水拠点
 - 災害協力井戸
 - 屋外放送塔
 - 警察・交番・駐在所
 - 消防署・出張所
 - 消防分団
 - 市役所
 - 支所
 - 海拔
 - アンダーパス
 - 東海第2原発からの距離
 - 学区・地区界

土砂災害警戒区域

特別警戒区域 (急傾斜)

警戒区域 (急傾斜)

特別警戒区域 (土石流)

警戒区域 (土石流)

津波浸水想定区域

最大クラスの津波が暴風条件下において発生した場合に浸水が想定される区域の最大浸水を表示したものを、(想定最大浸水)とする。

10.0m~20.0m未満

5.0m~10.0m未満

2.0m~5.0m未満

1.0m~2.0m未満

0.3m~1.0m未満

0.3m未満

東日本大震災における津波による浸水範囲 (実績)

地域海岸名

各地域海岸で予測される影響開始時間・最大遡上高

影響開始時間

最大遡上高

(注) ①「影響開始時間」「最大遡上高」は、7ページの【津波】に備えてを参照

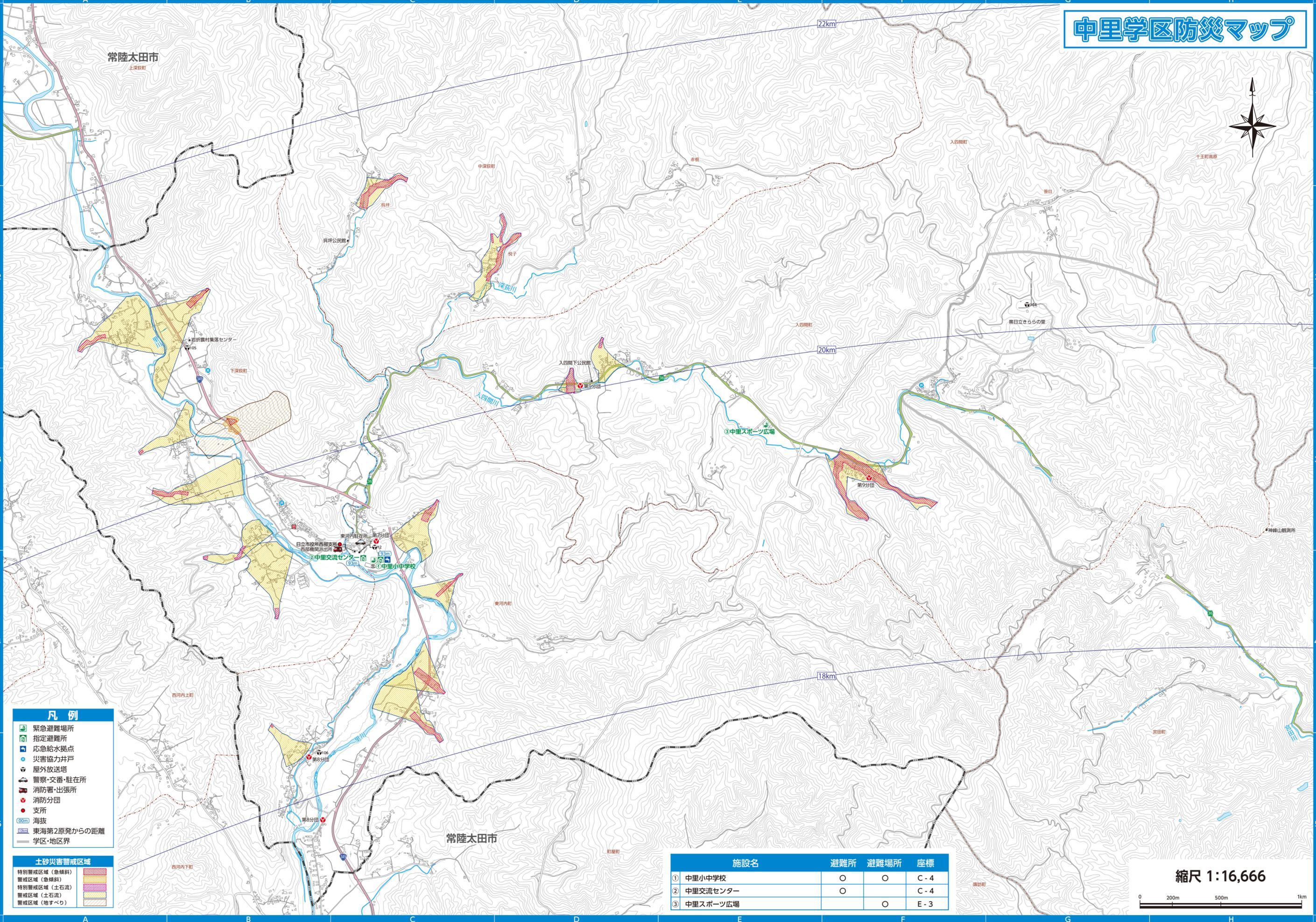
内水浸水想定区域

想定最大規模降雨(100年間に1回の頻度)により、既存の排水施設が対応できない状況が発生した場合に、50cm以上の浸水が想定される区域を表示したものを、(想定最大規模降雨)1時間153ミリ

内水浸水エリア (50cm以上)

施設名	避難所	避難場所	座標
① 宮田小学校	○	○	F-4
② 滑川小学校	○	○	F-2
③ 仲町小学校	○	○	E-3
④ 中小路小学校	○	○	F-4
⑤ 田尻小学校	○	○	G-2
⑥ 駒王中学校	○	○	E-4
⑦ 滑川中学校	○	○	G-3
⑧ 田尻交流センター	○	○	G-1
⑨ 滑川交流センター	○	○	F-3
⑩ 宮田交流センター	○	○	E-4
⑪ 仲町交流センター	○	○	E-3
⑫ 中小路交流センター	○	○	E-4
⑬ 日立武道館 (土砂災害時使用不可)	○	○	D-3
⑭ 日立シビックセンター	○	○	F-5
⑮ 日立市民会館	○	○	E-4
⑯ 日立第一高等学校	○	○	F-4
⑰ かみね公園	○	○	E-3
⑱ 消防拠点施設防災広場	○	○	E-4
⑲ 滑川市民広場	○	○	F-3
⑳ シーマークスクエア	○	○	G-2

中里学区防災マップ



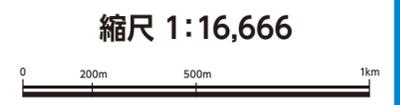
地区別防災マップ

地区別防災マップ

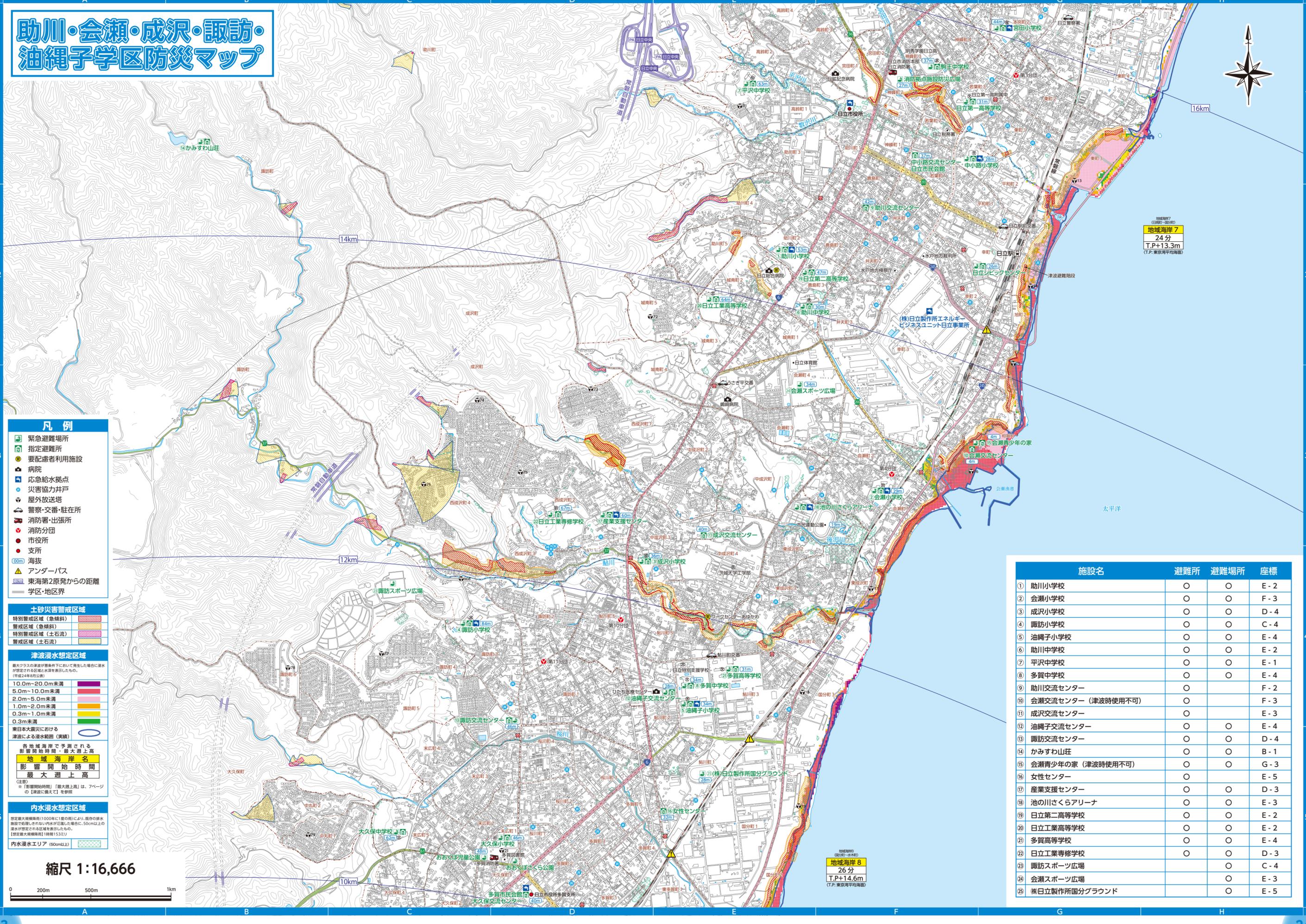
- 凡例**
- 緊急避難場所
 - 指定避難所
 - 応急給水拠点
 - 災害協力井戸
 - 屋外放送塔
 - 警察・交番・駐在所
 - 消防署・出張所
 - 消防分団
 - 支所
 - 海拔
 - 東海第2原発からの距離
 - 学区・地区界

- 土砂災害警戒区域**
- 特別警戒区域（急傾斜）
 - 警戒区域（急傾斜）
 - 特別警戒区域（土石流）
 - 警戒区域（土石流）
 - 警戒区域（地すべり）

施設名	避難所	避難場所	座標
① 中里小中学校	○	○	C - 4
② 中里交流センター	○		C - 4
③ 中里スポーツ広場		○	E - 3



助川・会瀬・成沢・諏訪・油縄子学区防災マップ



- ### 凡例
- 緊急避難場所
 - 指定避難所
 - 要配慮者利用施設
 - 病院
 - 応急給水拠点
 - 災害協力井戸
 - 屋外放送塔
 - 警察・交番・駐在所
 - 消防署・出張所
 - 消防分団
 - 市役所
 - 支所
 - 0.0m 海拔
 - アンダーパス
 - 東海第2原発からの距離
 - 学区・地区界

- ### 土砂災害警戒区域
- 特別警戒区域（急傾斜）
 - 警戒区域（急傾斜）
 - 特別警戒区域（土石流）
 - 警戒区域（土石流）

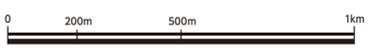
- ### 津波浸水想定区域
- 最大クラスの津波が襲来条件下において発生した場合に浸水が想定される区域と浸水高を表示したものを、(津波2.4m想定高)
- 10.0m~20.0m未満
 - 5.0m~10.0m未満
 - 2.0m~5.0m未満
 - 1.0m~2.0m未満
 - 0.3m~1.0m未満
 - 0.3m未満
- 東日本大震災における津波による浸水範囲（実績）

- ### 各地域海岸で予測される影響開始時間・最大遡上高
- | 地域海岸名 | 影響開始時間 | 最大遡上高 |
|--------|--------|------------|
| 地域海岸 7 | 24分 | T.P.+13.3m |
| 地域海岸 8 | 26分 | T.P.+14.6m |
- (注) ※「影響開始時間」「最大遡上高」は、Aページの「津波」欄にて参照

- ### 内水浸水想定区域
- 想定最大規模降雨(1000年に1度の雨)により、既存の排水施設で処理しきれない雨水が区域に滞留し、50cm以上の浸水が想定される区域を表示したものを、[想定最大規模降雨]1時間153ミリ
- 内水浸水エリア (50cm以上)

施設名	避難所	避難場所	座標
① 助川小学校	○	○	E-2
② 会瀬小学校	○	○	F-3
③ 成沢小学校	○	○	D-4
④ 諏訪小学校	○	○	C-4
⑤ 油縄子小学校	○	○	E-4
⑥ 助川中学校	○	○	E-2
⑦ 平沢中学校	○	○	E-1
⑧ 多賀中学校	○	○	E-4
⑨ 助川交流センター	○	○	F-2
⑩ 会瀬交流センター (津波時使用不可)	○	○	F-3
⑪ 成沢交流センター	○	○	E-3
⑫ 油縄子交流センター	○	○	E-4
⑬ 諏訪交流センター	○	○	D-4
⑭ かみすわ山荘	○	○	B-1
⑮ 会瀬青少年の家 (津波時使用不可)	○	○	G-3
⑯ 女性センター	○	○	E-5
⑰ 産業支援センター	○	○	D-3
⑱ 池の川さくらアリーナ	○	○	E-3
⑲ 日立第二高等学校	○	○	E-2
⑳ 日立工業高等学校	○	○	E-2
㉑ 多賀高等学校	○	○	E-4
㉒ 日立工業専修学校	○	○	D-3
㉓ 諏訪スポーツ広場	○	○	C-4
㉔ 会瀬スポーツ広場	○	○	E-3
㉕ 株式会社製作所国分グラウンド	○	○	E-5

縮尺 1:16,666



地域海岸 8
26分
T.P.+14.6m
(T.P.:東京湾平均海面)

地域海岸 7
24分
T.P.+13.3m
(T.P.:東京湾平均海面)

大久保・河原子・塙山・大沼・金沢・水木学区防災マップ



- ### 凡例
- 緊急避難場所
 - 指定避難所
 - 要配慮者利用施設
 - 病院
 - 応急給水拠点
 - 災害協力井戸
 - 屋外放送塔
 - 警察・交番・駐在所
 - 消防署・出張所
 - 消防分団
 - 支所
 - 0.0m 海拔
 - アンダーパス
 - 東海第2原発からの距離
 - 学区・地区界

- ### 土砂災害警戒区域
- 特別警戒区域 (急傾斜)
 - 警戒区域 (急傾斜)
 - 特別警戒区域 (土石流)
 - 警戒区域 (土石流)

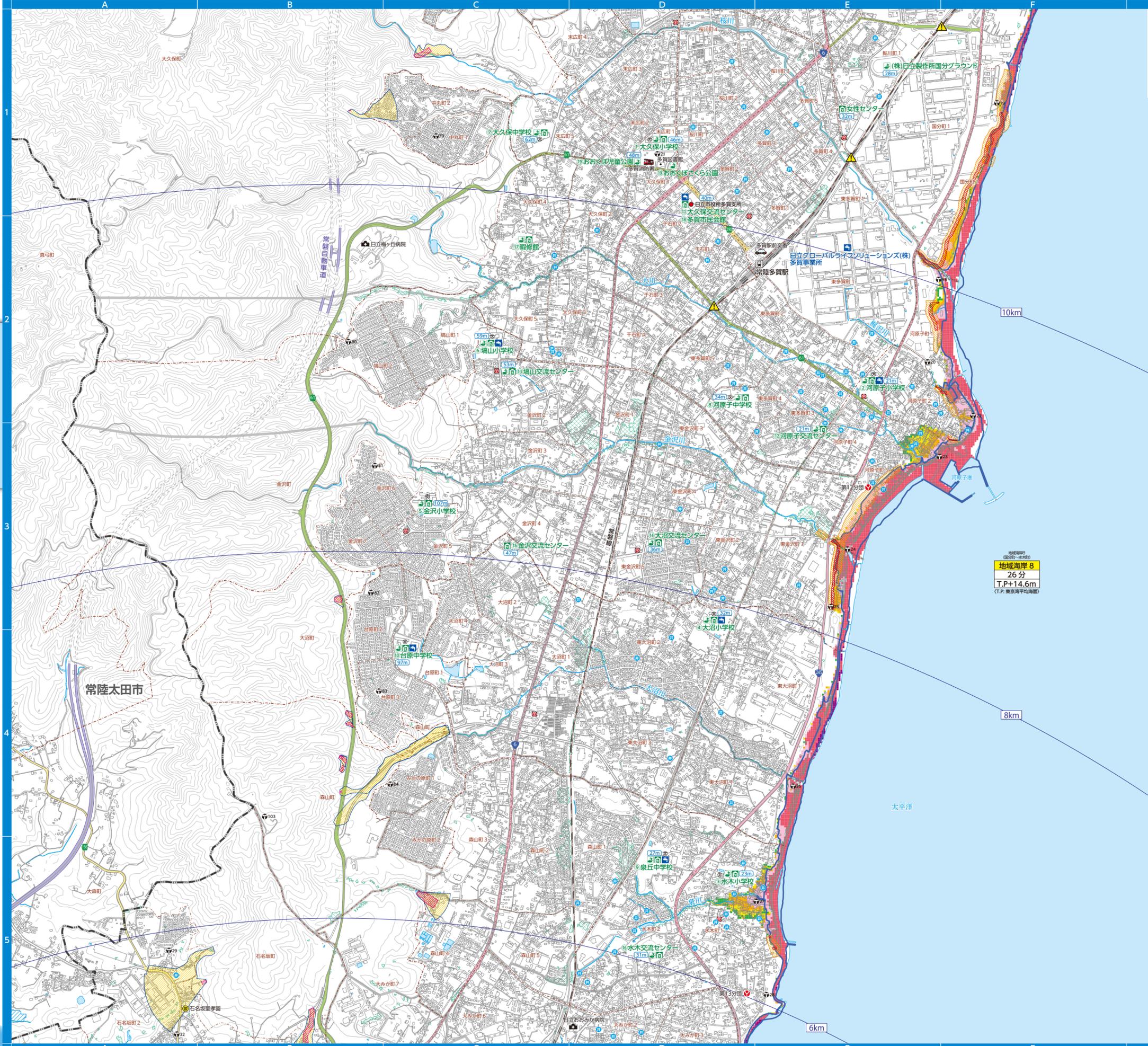
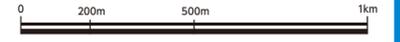
- ### 津波浸水想定区域
- 最大クラスの津波が襲来条件下において発生した場合に浸水が想定される区域と水深を表示したもので、(平成24年の公表)
- 10.0m~20.0m未満
 - 5.0m~10.0m未満
 - 2.0m~5.0m未満
 - 1.0m~2.0m未満
 - 0.3m~1.0m未満
 - 0.3m未満
- 東日本大震災における津波による浸水範囲 (実績)

- 各地域海岸で予測される影響開始時間・最大遡上高
- | 地域海岸名 | 影響開始時間 | 最大遡上高 |
|--------|--------|---------------------------|
| 地域海岸 8 | 26分 | T.P.+14.6m (T.P.:東経緯平均海面) |
- (注) ※「影響開始時間」「最大遡上高」は、Aページの「津波」欄にて参照

- ### 内水浸水想定区域
- 想定最大規模降雨(1000年に1度の雨)により、既存の排水施設で処理しきれない内水が氾濫した場合に、50cm以上の浸水が想定される区域を表示したもので、【想定最大規模降雨】1時降15.3ミリ
- 内水浸水エリア (50cm以上)

施設名	避難所	避難場所	座標
① 大久保小学校	○	○	D-1
② 河原子小学校	○	○	E-2
③ 水木小学校	○	○	D-5
④ 大沼小学校	○	○	D-3
⑤ 金沢小学校	○	○	C-3
⑥ 塙山小学校	○	○	C-2
⑦ 大久保中学校	○	○	C-1
⑧ 河原子中学校	○	○	D-2
⑨ 泉丘中学校	○	○	D-5
⑩ 台原中学校	○	○	C-4
⑪ 大久保交流センター	○		D-1
⑫ 河原子交流センター	○	○	E-3
⑬ 塙山交流センター	○	○	C-2
⑭ 大沼交流センター	○	○	D-3
⑮ 金沢交流センター	○		C-3
⑯ 水木交流センター	○	○	D-5
⑰ 暇修館	○	○	C-2
⑱ 多賀市民会館	○		D-1
⑲ おおくぼ児童公園、おおくぼさくら公園		○	D-1

縮尺 1:16,666



地区別防災マップ

地区別防災マップ

大みか・久慈学区・坂下地区防災マップ



地域海岸 8
26分
T.P.+14.6m
(T.P.:東京湾平均海面)

6km

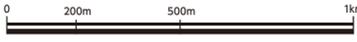
5km

4km

3km

2km

縮尺 1:16,666



- ### 凡例
- 緊急避難場所
 - 指定避難所
 - 要配慮者利用施設
 - 病院
 - 応急給水拠点
 - 災害協力井戸
 - 屋外放送塔
 - 警察・交番・駐在所
 - 消防署・出張所
 - 消防分団
 - 支所
 - 海抜
 - アンダーパス
 - 水位観測所
 - 東海第2原発からの距離
 - 学区・地区界

- ### 土砂災害警戒区域
- 特別警戒区域 (急傾斜)
 - 警戒区域 (急傾斜)
 - 特別警戒区域 (土石流)
 - 警戒区域 (土石流)

- ### 河川浸水想定区域
- 水防法に基づき想定最大降雨(1000年に1度の雨)に
よる浸水が想定される区域を表示したものを、
【想定最大降雨】
久慈川48時間16ミリ(平成28年5月算定)
茂宮川24時間6.5ミリ(平成29年8月算定)
- 久慈川
 - 茂宮川

- ### 家屋倒壊等氾濫想定区域
- 氾濫流
 - 沿岸氾濫

- ### 津波浸水想定区域
- 最大クラスの津波が襲来条件下において発生した場合に浸水
が想定される区域と水深を表示したものを、
(平成24年8月公表)
- 10.0m~20.0m未満
 - 5.0m~10.0m未満
 - 2.0m~5.0m未満
 - 1.0m~2.0m未満
 - 0.3m~1.0m未満
 - 0.3m未満
- 東日本大震災における
津波による浸水範囲(実績)

- 各地域海岸で予測される
影響開始時間・最大遡上高
- | 地域海岸名 | 影響開始時間 | 最大遡上高 |
|--------|--------|------------|
| 地域海岸 8 | 26分 | T.P.+14.6m |
| 地域海岸 9 | 26分 | T.P.+12.3m |
- (注) ※「影響開始時間」「最大遡上高」は、Aページの「津波」欄を参照

- ### 内水浸水想定区域
- 想定最大降雨(1000年に1度の雨)により、既存の排水
施設で処理しきれない内水が氾濫した場合に、50cm以上の
浸水が想定される区域を表示したものを、
【想定最大降雨】1時間15.3ミリ
- 内水浸水エリア (50cm以上)

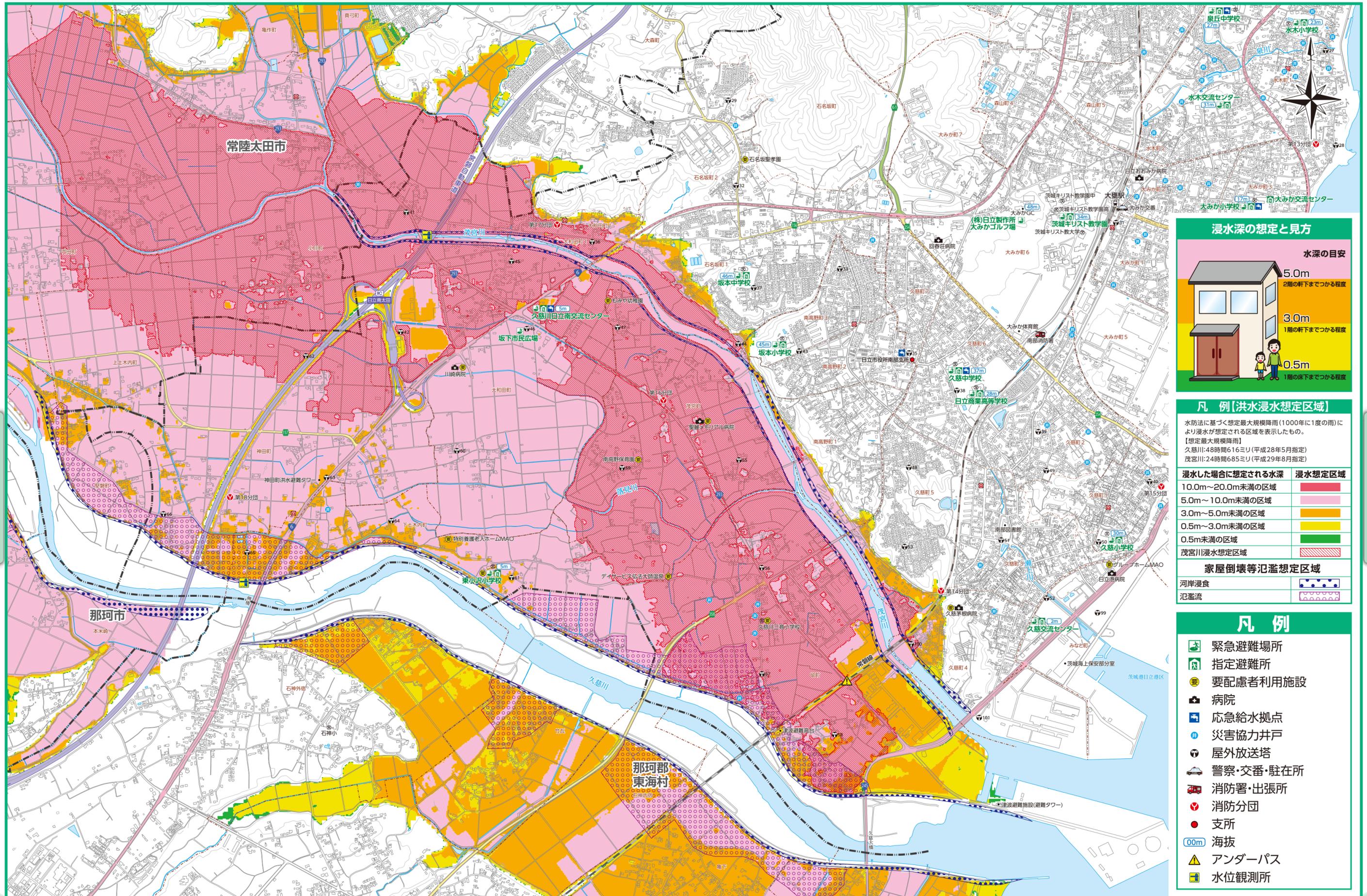
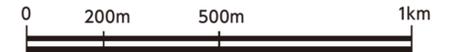
施設名	避難所	避難場所	座標
① 大みか小学校	○	○	G-2
② 久慈小学校	○	○	F-3
③ 坂本小学校	○	○	E-2
④ 東小沢小学校 (津波・洪水時使用不可)	○	○	C-3
⑤ 久慈中学校	○	○	E-3
⑥ 坂本中学校	○	○	D-2
⑦ 大みか交流センター	○	○	G-2
⑧ 久慈交流センター (津波時使用不可)	○	○	F-4
⑨ 久慈川日立南交流センター (洪水時使用不可)	○	○	C-2
⑩ 日立商業高等学校	○	○	F-3
⑪ 茨城キリスト教学園	○	○	F-2
⑫ 坂下市民広場 (洪水時使用不可)	○	○	C-2
⑬ 株式会社製作所大みかゴルフ場	○	○	F-2

地区別防災マップ

地区別防災マップ

久慈川・茂宮川洪水ハザードマップ

縮尺 1:15,000



浸水深の想定と見方

水深の目安

- 5.0m: 2階の軒下までつかる程度
- 3.0m: 1階の軒下までつかる程度
- 0.5m: 1階の床下までつかる程度

凡例 (洪水浸水想定区域)

水防法に基づく想定最大規模降雨(1000年に1度の雨)により浸水が想定される区域を表示したものの。
 【想定最大規模降雨】
 久慈川: 48時間616ミリ(平成28年5月指定)
 茂宮川: 24時間685ミリ(平成29年8月指定)

浸水した場合に想定される水深	浸水想定区域
10.0m~20.0m未満の区域	
5.0m~10.0m未満の区域	
3.0m~5.0m未満の区域	
0.5m~3.0m未満の区域	
0.5m未満の区域	
茂宮川浸水想定区域	

家屋倒壊等氾濫想定区域

河岸浸食	
氾濫流	

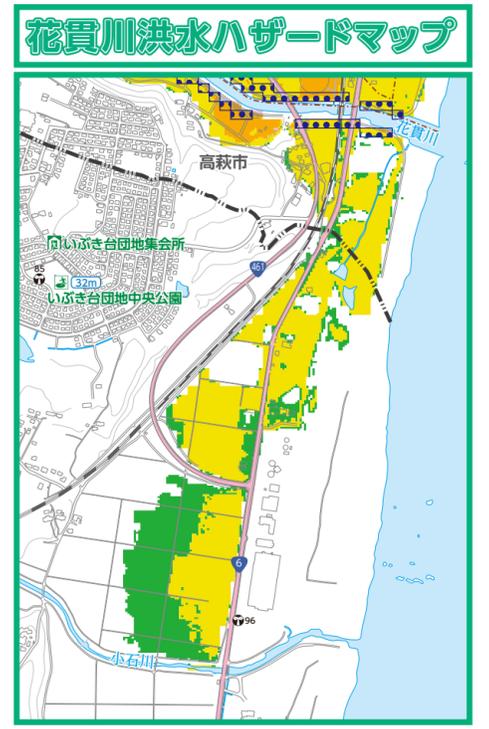
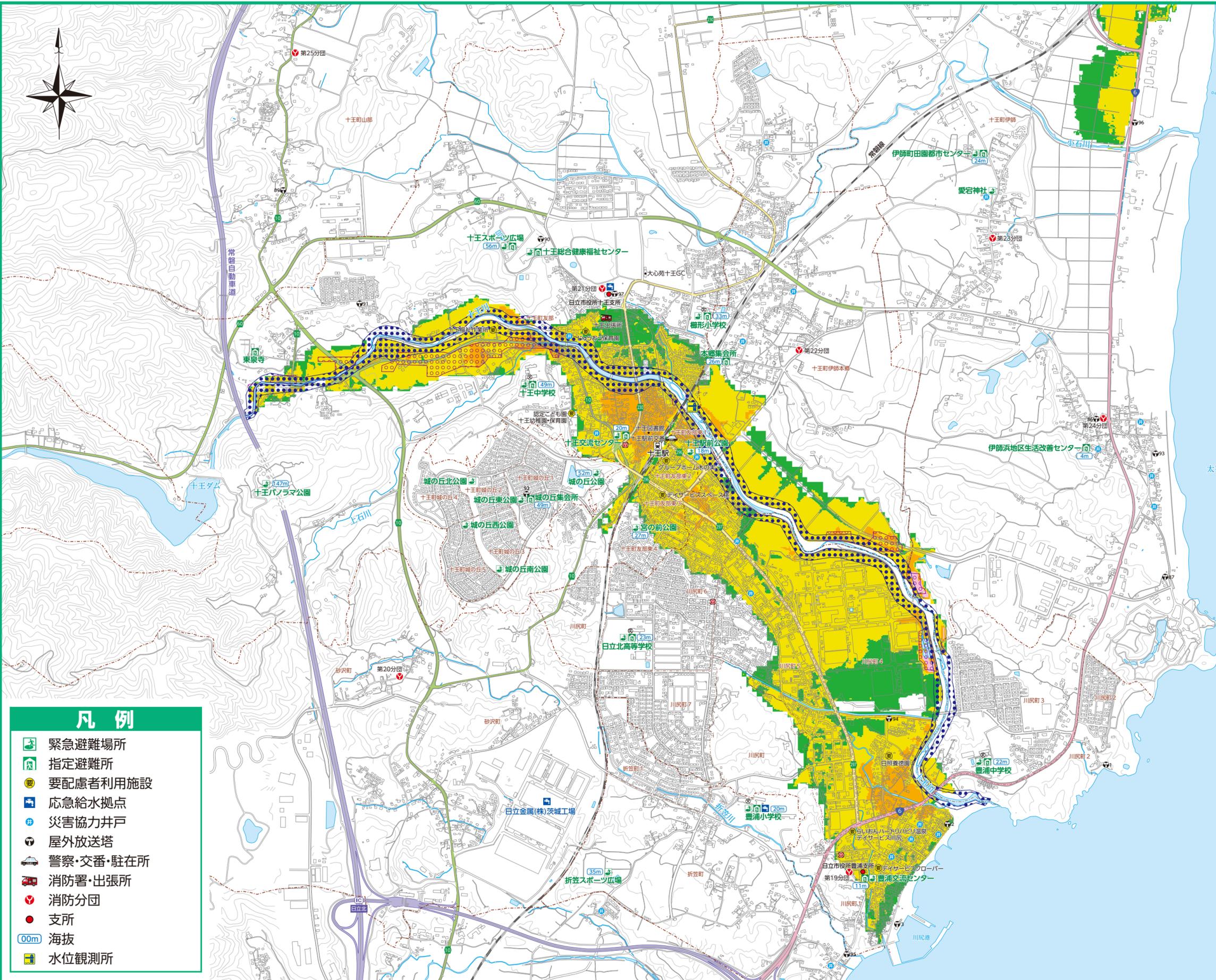
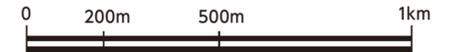
- ### 凡例
- 緊急避難場所
 - 指定避難所
 - 要配慮者利用施設
 - 病院
 - 応急給水拠点
 - 災害協力戸井
 - 屋外放送塔
 - 警察・交番・駐在所
 - 消防署・出張所
 - 消防分団
 - 支所
 - 00m 海拔
 - アンダーパス
 - 水位観測所

各種ハザードマップ

各種ハザードマップ

十王川・花貫川洪水ハザードマップ

縮尺 1:15,000



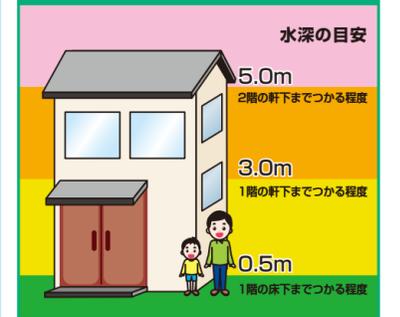
各種ハザードマップ

各種ハザードマップ

凡例

- 緊急避難場所
- 指定避難所
- 要配慮者利用施設
- 応急給水拠点
- 災害協力井戸
- 屋外放送塔
- 警察・交番・駐在所
- 消防署・出張所
- 消防分団
- 支所
- 00m 海拔
- 水位観測所

浸水深の想定と見方



凡例【洪水浸水想定区域】

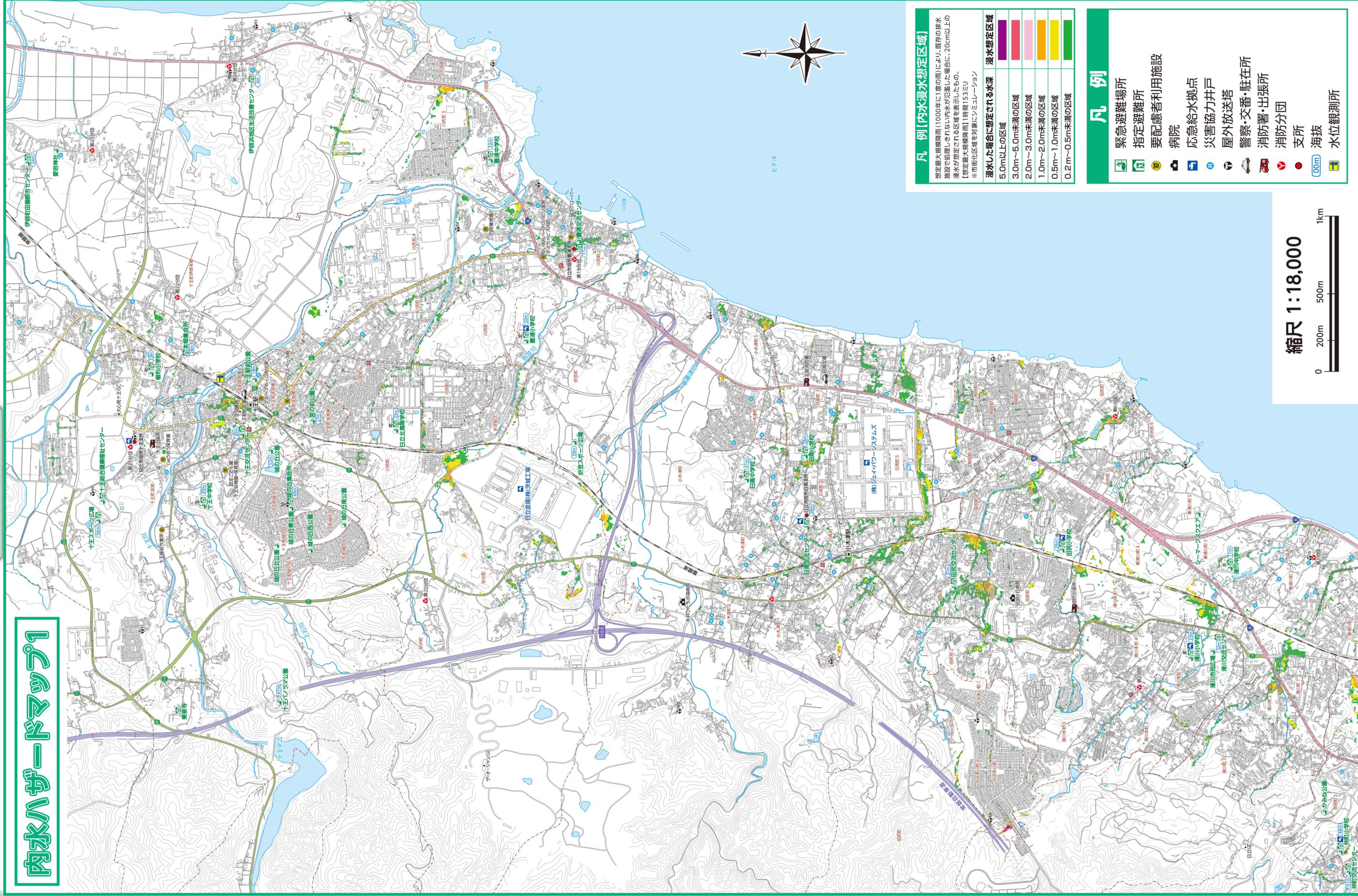
水防法に基づく想定最大規模降雨(1000年に1度の雨)により浸水が想定される区域を表示したもの。
 【想定最大規模降雨】
 十王川:24時間681.9ミリ(平成29年8月指定)
 花貫川:24時間684ミリ(平成29年8月指定)

浸水した場合に想定される水深	浸水想定区域
10.0m~20.0m未満の区域	
5.0m~10.0m未満の区域	
3.0m~5.0m未満の区域	
0.5m~3.0m未満の区域	
0.5m未満の区域	

家屋倒壊等氾濫想定区域	
河岸浸食	
氾濫流	

内水ハザードマップ①

各種ハザードマップ①



凡例【内水浸水想定区域】

想定最大規模降雨（1000年に1度の雨）により、既存の排水施設で処理しきれない内水が氾濫した場合に、20cm以上の浸水が想定される区域を表示したものを、
【想定最大規模降雨】1時間153ミリ
※市街化区域を対象にシミュレーション

浸水した場合に想定される水深	浸水想定区域
5.0m以上の区域	
3.0m～5.0m未満の区域	
2.0m～3.0m未満の区域	
1.0m～2.0m未満の区域	
0.5m～1.0m未満の区域	
0.2m～0.5m未満の区域	

凡例

- 緊急避難場所
- 指定避難所
- 要配慮者利用施設
- 病院
- 応急給水拠点
- 災害協力井戸
- 屋外放送塔
- 警察・交番・駐在所
- 消防署・出張所
- 消防分団
- 支所
- 海拔
- 水位観測所

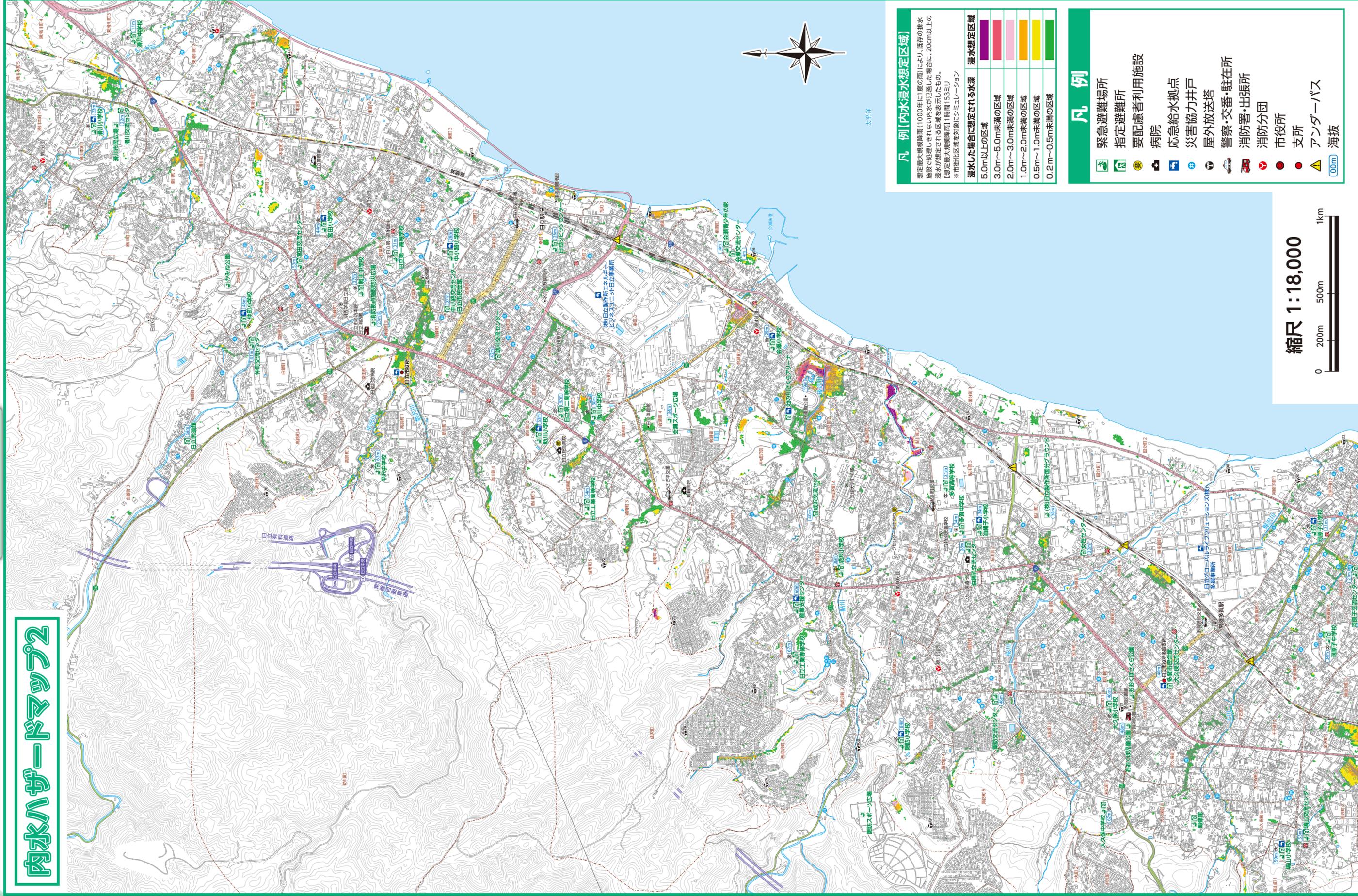
縮尺 1:18,000



各種ハザードマップ②

内水ハザードマップ2

各種ハザードマップ



凡例 (内水浸水想定区域)

想定最大規模降雨(1000年に1度の雨)により、既存の排水施設で処理しきれない内水が氾濫した場合に、20cm以上の浸水が想定される区域を表示したも。
【想定最大規模降雨】1時間153ミリ
※市街化区域を対象にシミュレーション

浸水した場合に想定される水深	浸水想定区域
5.0m以上の区域	
3.0m～5.0m未満の区域	
2.0m～3.0m未満の区域	
1.0m～2.0m未満の区域	
0.5m～1.0m未満の区域	
0.2m～0.5m未満の区域	

凡例

- 緊急避難場所
- 指定避難所
- 要配慮者利用施設
- 病院
- 応急給水拠点
- 災害協力井戸
- 屋外放送塔
- 警察・交番・駐在所
- 消防署・出張所
- 消防分団
- 市役所
- 支所
- アンダーパス
- 海抜

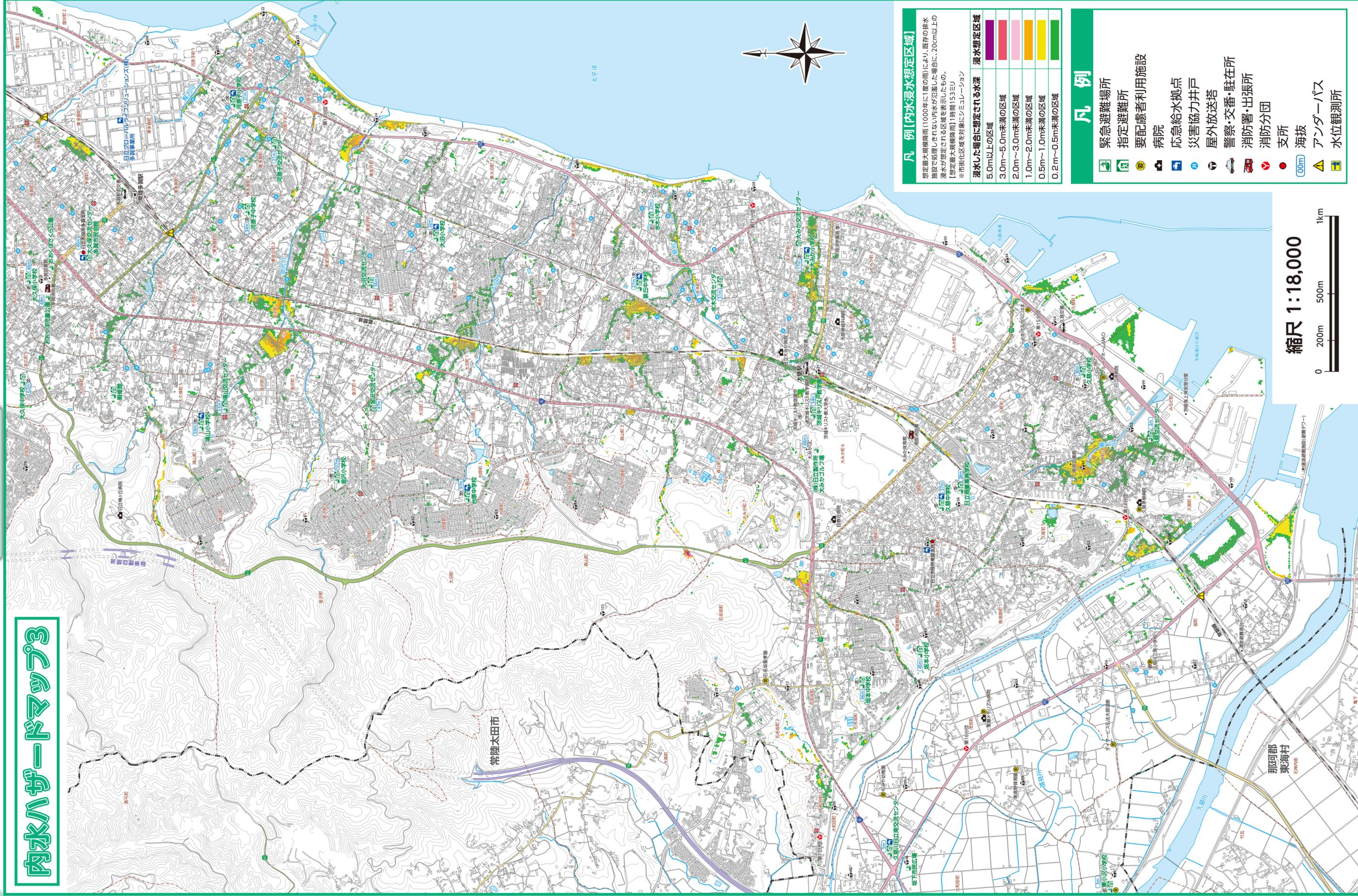
縮尺 1:18,000



各種ハザードマップ

内水ハザードマップ3

各種ハザードマップ



凡例【内水浸水想定区域】
 想定最大規模降雨(1000年に1度の雨)により、既存の排水施設で処理しきれない内水が氾濫した場合に、20cm以上の浸水が想定される区域を表示したものです。
 ※市街化区域を対象にシミュレーション

浸水した場合に想定される水深	浸水想定区域
5.0m以上の区域	
3.0m～5.0m未満の区域	
2.0m～3.0m未満の区域	
1.0m～2.0m未満の区域	
0.5m～1.0m未満の区域	
0.2m～0.5m未満の区域	

凡例

	緊急避難場所
	指定避難所
	要配慮者利用施設
	病院
	応急給水拠点
	災害協力井戸
	屋外放送塔
	警察・交番・駐在所
	消防署・出張所
	消防分団
	支所
	海抜
	アンダーパス
	水位観測所

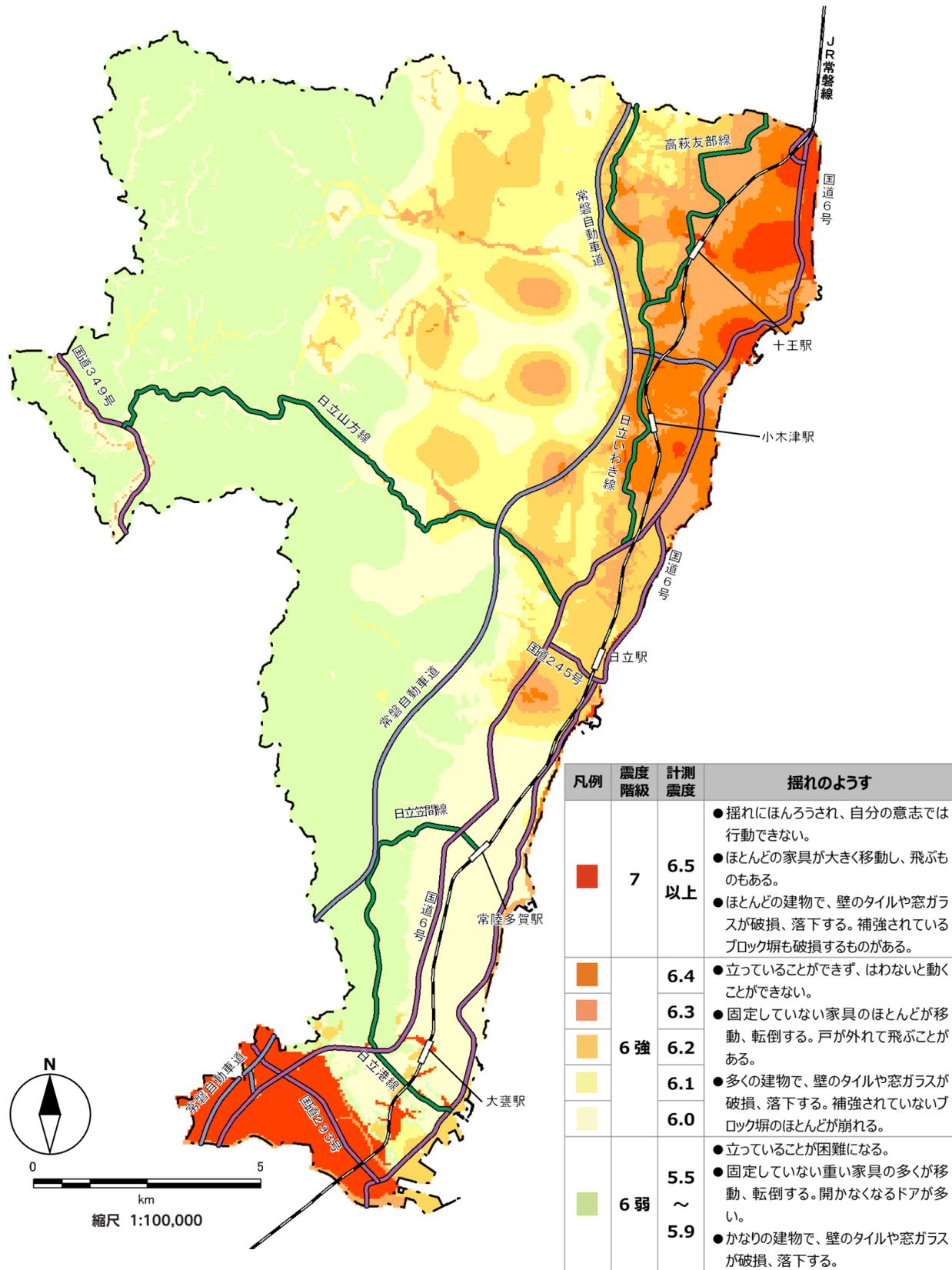
縮尺 1:18,000

0 200m 500m 1km

各種ハザードマップ

揺れやすさマップ

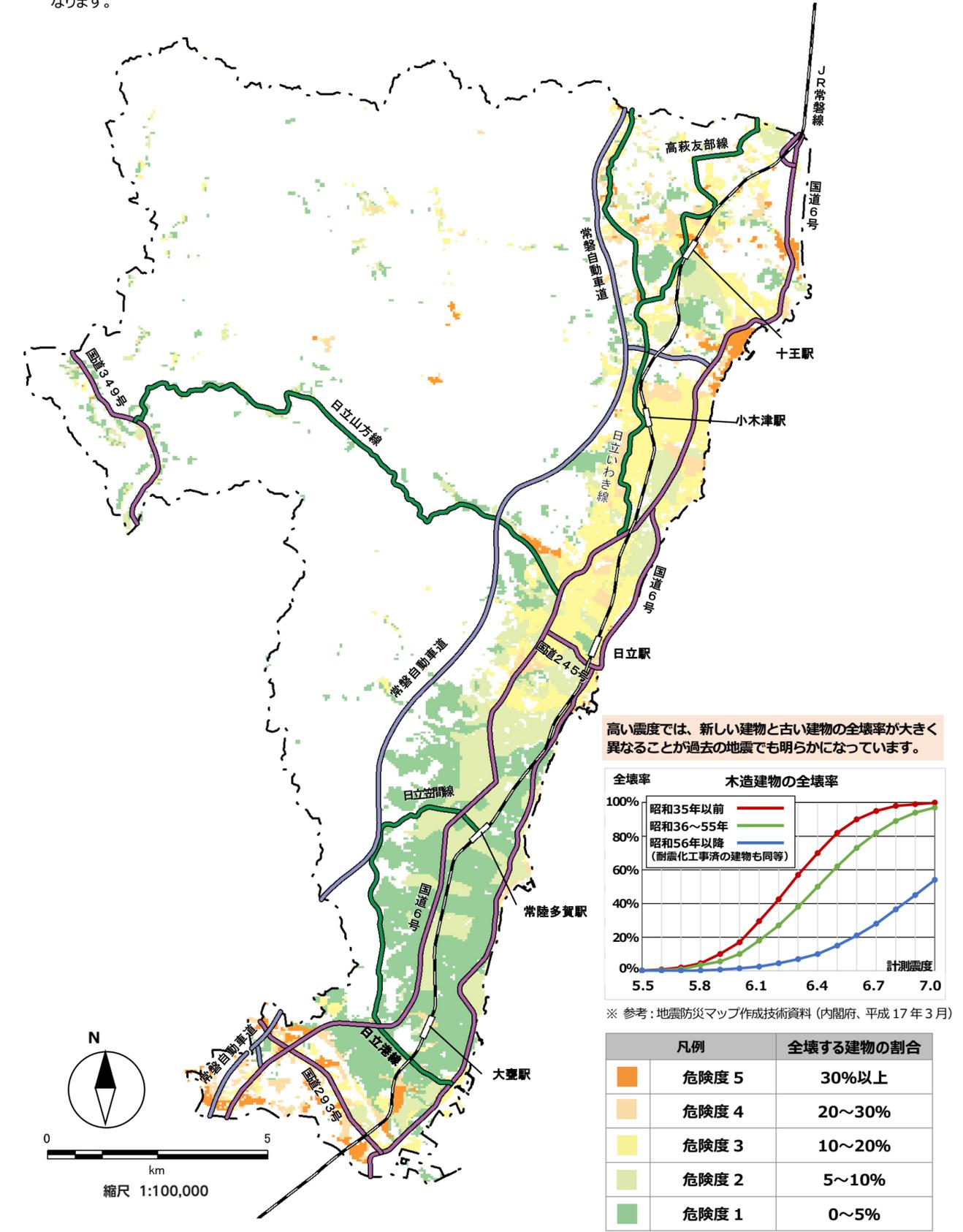
揺れやすさマップとは、日立市に大きな被害をもたらす地震を想定して、揺れの大きさ（震度）を予測し、地図上に表示したものです。なお、震源の位置や地震の規模が異なれば、地域の地表の揺れはマップに示した震度よりも強くなったり弱くなったりすることがあります。



出典：気象庁震度階級関連解説表をもとに作成

建物倒壊率マップ

建物倒壊率マップとは、揺れやすさマップで予測された地震が発生した場合に、建物が倒壊する可能性を建築年数・構造などから推定し、その割合を危険度として地図上に表示したものです。揺れやすい地域で古い木造建築物が多い地域は相対的に危険度が高くなります。



※ 参考：地震防災マップ作成技術資料（内閣府、平成 17年 3月）

避難施設一覽

No.	避難施設名	住所	電話番号 (市外局番0294)	避難所種別		災害別の対応出来ない避難所			
				指定避難所	緊急避難場所	地震	津波	洪水	土砂災害
1	助川小学校	助川町2-15-1	22-1152	○	○				
2	会瀬小学校	会瀬町2-17-10	35-6528	○	○				
3	宮田小学校	本宮町2-9-1	22-5344	○	○				
4	滑川小学校	滑川本町1-20-7	23-3432	○	○				
5	仲町小学校	宮田町5-5-1	22-4349	○	○				
6	中小路小学校	平和町2-4-1	22-6344	○	○				
7	大久保小学校	末広町1-1-1	36-0555	○	○				
8	河原子小学校	河原子町4-3-4	36-0545	○	○				
9	成沢小学校	中成沢町3-16-8	35-5589	○	○				
10	諏訪小学校	諏訪町3-10-1	36-0525	○	○				
11	水木小学校	水木町1-6-1	52-3129	○	○				
12	大みか小学校	大みか町3-19-5	53-2010	○	○				
13	大沼小学校	東大沼町2-1-8	36-0558	○	○				
14	金沢小学校	金沢町5-2-1	34-1968	○	○				
15	塙山小学校	金沢町2-14-1	35-2098	○	○				
16	油縄子小学校	鮎川町3-11-1	36-0515	○	○				
17	田尻小学校	田尻町4-39-1	42-8770	○	○				
18	日高小学校	日高町2-12-1	42-4327	○	○				
19	豊浦小学校	折笠町741	43-4014	○	○				
20	久慈小学校	久慈町1-23-1	52-3153	○	○				
21	坂本小学校	南高野町3-21-1	52-4367	○	○				
22	東小沢小学校	下土木内町617	52-6000	○	○		×	×	
23	櫛形小学校	十王町伊師本郷508	39-3220	○	○				
24	山部小学校	十王町山部841	39-2340	○	○				×
25	助川中学校	鹿島町3-5-1	22-5348	○	○				
26	平沢中学校	高鈴町1-15-1	22-4139	○	○				
27	駒王中学校	神峰町3-2-32	22-5341	○	○				
28	滑川中学校	東滑川町3-17-1	24-7034	○	○				
29	多賀中学校	鮎川町3-11-2	36-0533	○	○				
30	大久保中学校	末広町5-12-34	33-1164	○	○				
31	河原子中学校	東多賀町4-10-10	36-0532	○	○				
32	泉丘中学校	水木町2-9-1	52-2757	○	○				
33	台原中学校	台原町1-9-1	34-6601	○	○				
34	日高中学校	小木津町3-26-1	42-4418	○	○				
35	豊浦中学校	川尻町3-11-1	43-5719	○	○				
36	久慈中学校	久慈町6-20-2	52-3242	○	○				
37	坂本中学校	石名坂町1-30-1	52-2409	○	○				
38	十王中学校	十王町友部600	69-2400	○	○				
39	中里小中学校	東河内町1953	59-0344	○	○				
40	山部地区生活改善センター	十王町山部856-2	-	○					
41	伊師浜地区生活改善センター	十王町伊師1329	-	○					
42	黒坂地区生活改善センター	十王町黒坂168	-	○	○				
43	いぶき台団地集会所	十王町伊師3929-3	-	○					
44	伊師町田園都市センター	十王町伊師3586	-	○	○				
45	本郷集会所	十王町伊師本郷9-2	-	○					
46	城の丘集会所	十王町城の丘1-20	-	○					
47	十王スポーツ広場	十王町友部1936	39-2446	○	○				
48	十王総合健康福祉センター	十王町友部2088-11	39-7111	○	○				
49	東泉寺	十王町友部1782-6	-	○					
50	十王交流センター	十王町友部129-2	39-2411	○	○			×	
51	豊浦交流センター	川尻町1-40-1	43-5755	○	○		×	×	
52	日高交流センター	日高町2-2-1	42-4050	○	○				
53	田尻交流センター	田尻町1-35-1	42-1552	○	○				
54	滑川交流センター	滑川本町1-21-1	22-1654	○					
55	宮田交流センター	本宮町1-6-1	27-6835	○	○				
56	中里交流センター	東河内町1953-2	70-8005	○					

No.	避難施設名	住所	電話番号 (市外局番0294)	避難所種別		災害別の対応出来ない避難所			
				指定避難所	緊急避難場所	地震	津波	洪水	土砂災害
57	仲町交流センター	宮田町4-4-15	21-5564	○	○				
58	中小路交流センター	若葉町1-5-8	22-6483	○					
59	助川交流センター	鹿島町1-21-7	23-0955	○					
60	会瀬交流センター	会瀬町1-1-18	25-1577	○			×		
61	成沢交流センター	中成沢町3-6-10	35-5587	○					
62	油縄子交流センター	鮎川町2-6-1	38-7531	○	○				
63	諏訪交流センター	諏訪町4-11-1	33-3841	○	○				
64	大久保交流センター	千石町2-4-20	34-0535	○					
65	河原子交流センター	東多賀町3-7-5	33-3746	○	○				
66	塙山交流センター	金沢町2-11-5	34-5404	○	○				
67	大沼交流センター	東金沢町5-7-1	35-8329	○	○				
68	金沢交流センター	大沼町2-3-5	36-3985	○					
69	水木交流センター	水木町2-23-20	52-3225	○	○				
70	大みか交流センター	大みか町3-19-16	53-5211	○					
71	久慈交流センター	みなと町3-10	52-0165	○	○		×		
72	久慈川日立南交流センター	大和田町2208	52-3155	○	○			×	
73	かみすわ山荘	諏訪町1439	36-7755	○	○				
74	会瀬青少年の家	会瀬町1-1-20	22-9535	○	○		×		
75	日立武道館	白銀町2-21-15	22-0361	○					×
76	暇修館	大久保町4-15-1	36-0553	○	○				
77	日立シビックセンター	幸町1-21-1	24-7711	○	○				
78	日立市民会館	若葉町1-5-8	22-6481	○					
79	多賀市民会館	千石町2-4-20	34-1727	○					
80	女性センター	鮎川町1-1-10	36-0554	○					
81	産業支援センター	西成沢町2-20-1	25-6121	○	○				
82	池の川さくらアリーナ	東成沢町2-15-1	35-0767	○	○				
83	日立北高等学校	川尻町6-11-1	43-2101	○	○				
84	日立第一高等学校	若葉町3-15-1	22-6488	○	○				
85	日立第二高等学校	鹿島町3-2-1	22-3254	○	○				
86	日立工業高等学校	城南町2-12-1	22-1049	○	○				
87	多賀高等学校	鮎川町3-9-1	33-0044	○	○				
88	日立商業高等学校	久慈町6-20-1	52-4779	○	○				
89	茨城キリスト教学園	大みか町6-11-1	52-3215	○	○				
90	日立工業専修学校	西成沢町2-17-1	28-5009	○	○				
91	いぶき台団地中央公園	十王町伊師3900	-		○				
92	十王駅前公園	十王町友部東1-7	-		○				
93	宮の前公園	十王町友部東4-5-12	-		○				
94	十王パノラマ公園	十王町友部1085-6	-		○				
95	城の丘公園	十王町城の丘1-1	-		○				
96	城の丘東公園	十王町城の丘1-20-1	-		○				
97	城の丘西公園	十王町城の丘5-4-1	-		○				
98	城の丘南公園	十王町城の丘3-9-1	-		○				
99	城の丘北公園	十王町城の丘2-20	-		○				
100	愛宕神社	十王町伊師2951	-		○				
101	かみね公園	宮田町5-2	-		○				
102	消防拠点施設防災広場	神峰町2-4-1	-		○				
103	折笠スポーツ広場	折笠町987-1	-		○				
104	滑川市民広場	滑川本町1-21	-		○				
105	シーマックスエア	東滑川町5-1-1	-		○				
106	中里スポーツ広場	入四間町513-1	-		○				
107	諏訪スポーツ広場	諏訪町963-3	-		○				
108	おおくぼ児童公園・おおくぼさくら公園	末広町1-2、末広町1-1-2	-		○				
109	坂下市民広場	大和田町1936	-		○			×	
110	会瀬スポーツ広場	会瀬町4-2	-		○				
111	㈱日立製作所国分グラウンド	鮎川町1-4	-		○				
112	㈱日立製作所大みかゴルフ場	大みか町6-20	-		○				

マイ・タイムライン

我が家のタイムライン		家
避難先 (避難所、親戚宅、友人宅)	避難先までの移動手段	避難先までの移動時間
		分

注意すべきこと

避難情報など

逃げ遅れないためにやるべきこと

台風が発生 台風が接近

天気予報や
気象庁が
発表する情報、
河川の水位に
注意!!

【警戒レベル1】 早期注意情報

【警戒レベル2】 大雨・洪水注意報

河川
・氾濫注意水位に到達
・氾濫注意情報発表

- テレビやラジオで台風情報を確認する。
- 避難先、移動手段、移動時間を再確認する。
- 避難するときに持っていくものを確認する(チェックをつける)。

- | | | |
|---------------------------------|--------------------------------|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 飲料水 | <input type="checkbox"/> 懐中電灯 | <input type="checkbox"/> 通帳などの貴重品 |
| <input type="checkbox"/> 食料品 | <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ | <input type="checkbox"/> マスク |
| <input type="checkbox"/> 着替え | <input type="checkbox"/> 電池 | <input type="checkbox"/> ウェットティッシュ |
| <input type="checkbox"/> タオル | <input type="checkbox"/> 携帯充電器 | <input type="checkbox"/> 常備薬 |
| <input type="checkbox"/> その他() | | |

- 避難しやすい服装に着替える。
- ※河川や水田に近づくのはやめましょう。

市町村が 発令する 避難情報に 注意!!

気象庁が
発表する情報や、
河川の水位に
注意!!

【警戒レベル3】 高齢者等避難 が発令

河川
・避難判断水位に迫る
・氾濫警戒情報発表

【警戒レベル4】 避難指示が発令

河川
・氾濫危険水位に迫る
・氾濫危険情報発表

我が家が避難するタイミングは警戒レベル3

- 高齢者など避難に時間のかかる人は避難を始める。
- どこに避難するか、家族や親戚に伝える。

連絡する家族や親戚の電話番号

我が家が避難するタイミングは警戒レベル4

- 危険な場所から全員避難する。
- 近所の人に声をかけて一緒に避難する。

声をかける相手

避難完了!

基準水位

河川名	水防団待機水位	氾濫注意水位	避難判断水位	氾濫危険水位	計画高水位
久慈川	2.70m	3.70m	6.30m	6.70m	7.54m
茂宮川	2.10m	2.40m	2.80m	3.10m	3.40m
十王川	1.50m	1.70m	2.00m	2.40m	3.20m

【警戒レベル5】

河川
・氾濫が発生!!
・氾濫発生情報発表

- 【使い方】 ●災害時に内容を確認しながら避難を行きましょう。
●内容に変更がある場合は見直すとともに、定期的に我が家のタイムラインの確認を含む避難行動開始の訓練を行きましょう。

非常持出品

非常持出品チェックリスト

飲料・食料 ※最低3日分は用意しましょう!

- 飲料水 1人1日3リットル
- 非常食 缶詰、アルファ米、レトルト食品 など

貴重品

- 免許証、保険証、通帳等のコピー
- お薬手帳
- 現金

衛生用品

- 救急用品 ばんそうこう、包帯、三角巾、ガーゼ など
- 常備薬
- 歯ブラシ・歯磨き粉
- タオル
- 携帯トイレ
- 生理用品

その他

各自、必要なものがあれば記入し、準備するようにしましょう。
例:コンタクトレンズ、入れ歯

-
-
-

感染症対策

- マスク
- 体温計
- 手指消毒用アルコール
- ウェットティッシュ



生活用品

- 懐中電灯
- 携帯ラジオ
- エア枕
- モバイルバッテリー
- ヘルメット・防災ずきん
- 下着・雨具
- 使い捨てカイロ(防寒対策)
- うちわ、冷却シート(熱中症対策)
- 上履き(スリッパ)
- 軍手
- プラスチックフォーク
- 紙皿・コップ
- ラップ
- 筆記用具

ローリングストック法

普段から少し多めに食材、加工品を買っておき、使ったら使った分だけ新しく買い足していくことで、常に一定量の食料を家に備蓄しておく方法をローリングストック法と言います。

ローリングストック法のポイントは、日常生活で消費しながら備蓄することです。また、ローリングストック法は、食料だけでなく、日常使いできている生活用品(ウェットタオル、カセットコンロ、カセットボンベ、乾電池、使い捨てカイロなど)にも応用することができます。

冷蔵庫・冷凍庫の食材を活用

食パンや野菜等は自然解凍により食べる事も可能。



冷蔵庫に食材を買い置きし、冷凍庫にもご飯や食パン、野菜、冷凍食品等の備蓄を。

氷は溶かして飲料水として活用も可能。



停電時、クーラーボックスや保冷剤等を活用して食材の保存を。

調理器具の備え

カセットボンベ1本で約60分使用可能。1ヶ月で約15本必要(1日30分使用の場合)。

カセットコンロ・ボンベ
停電時等、冷蔵庫の食材や非常食を調理するために必須。



ローリングストック法で備蓄した非常食を活用

ローリングストック法

定期的(1ヶ月に1、2度)に食べて、食べた分を買い足し備蓄していく方法。食べながら備えるため、消費期限が短いレトルト食品等も非常食として扱えます。



その他備蓄しておく良いもの

乾麺(ラーメン・パスタ等)
ゆで時間の短いものを。



缶詰
野菜や果物の缶詰で栄養を。



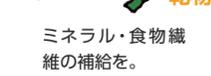
フリーズドライ食品(スープ等)

スープ類は食欲が無い時でも摂取可能。

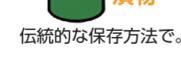


その他のアイデア

乾物
ミネラル・食物繊維の補給を。



漬物
伝統的な保存方法で。



家庭菜園

庭やベランダ等も活用して菜園を。



※上記の日数・組み合わせは一例です。ローリングストック法等で1週間分の非常食を蓄えておくことにより安心です。
※1週間分の飲料水、また生活用水も備えましょう。飲料水は1人1日3リットル×家族分の準備を。

わが家の防災対策

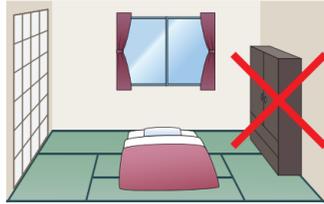
家の中の安全対策

家の中に逃げ場としての安全な空間をつくる

部屋が幾つもある場合は、人の出入りが少ない部屋に家具をまとめて置く。無理な場合は、少しでも安全なスペースができるよう配置換えする。

寝室、子どもやお年寄りのいる部屋には家具を置かない

就寝中に地震に襲われると子どもやお年寄り、病人などは倒れた家具が凶器や妨げとなってケガや逃げ遅れる可能性があります。



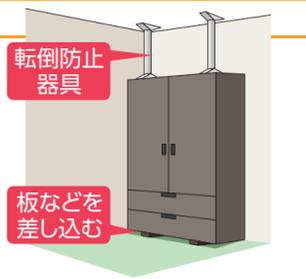
安全に避難するため、出入口や通路にものを置かない

玄関などの出入口までの通路に、家具など倒れやすいものを置かない。また、玄関にいろいろものを置くと、いざというときに、出入口をふさいでしまうことも。



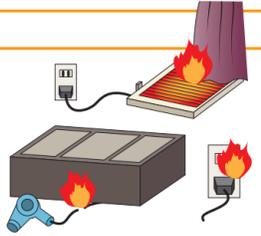
家具の転倒を防ぐ

家具と壁や柱の間に遊びがあると倒れやすい。家具の下に小さな板などを差し込んで、壁や柱によりかかるように固定する。また、金具や固定器具を使って転倒防止策を万全に。



電気火災発生防止

大地震が発生した際には、多数の火災が発生し、多くの人が命や財産を失っています。地震火災の原因の多くは電気が関連しており、電気機器など(電気ストーブ、電気コンロなど)の転倒による出火や、電気復旧時における通電火災(破損した電気コードのショートによる出火など)があります。このような電気火災を防ぐため、感震ブレーカーなどを設置しましょう。



感震ブレーカー

あらかじめ設定した震度以上の地震が発生した場合に、自動的に電気の供給を遮断しますので、電気による出火防止に効果的です。

家具の転倒、落下を防ぐポイント

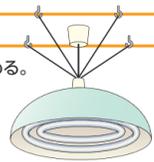
ダンス・本棚

L字金具や支え棒などで固定する。二段重ねの場合はつなぎ目を金具でしっかり連結しておく。



照明

チェーンと金具を使って数箇所止める。蛍光灯は蛍光管の両端を耐熱テープで止めておく。



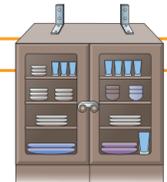
ピアノ

脚にピアノ用の転倒防止器具を。



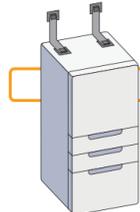
食器棚

L字金具などで固定し、棚板には滑りにくい材質のシートやふきんなどを敷く。重い食器は下に、軽い食器は上の方に置く。扉が開かないように止め金具をつける。



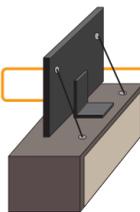
冷蔵庫

転倒防止器具で壁に固定する。



テレビ

できるだけ低い位置に固定して置く(家具の上はさける)。



家の周囲の安全対策

ベランダ

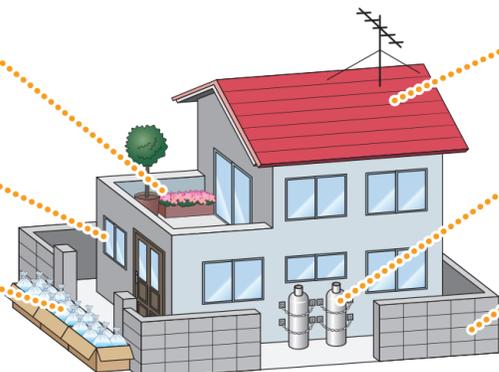
植木鉢などの整理整頓を。落ちる危険がある場所には何も置かない。

窓ガラス

飛散防止フィルムを貼る。

簡易水のう

ポリ袋に水を入れたもので、段ボールなどと組み合わせることで防水壁として土のうの代用ができます。



屋根

不安定な屋根のアンテナや、屋根瓦は補強しておく。

プロパンガス

ボンベを鎖で壁に固定しておく。

ブロック塀・門柱

土中にしっかりと基礎部分がないもの、鉄筋が入っていないものは、危険なので補強する。ひび割れや鉄筋のさびも修理する。

わが家の防災メモ

非常時に連絡しなければならない方などをメモしておくページです。事前に電話番号などを記入しておきましょう。

住所						
氏名		電話				
避難所	地震の時		避難所			
			家族が離ればなれになった時の避難所			
	水害の時①		避難所			
			家族が離ればなれになった時の避難所			
	水害の時②		避難所			
			家族が離ればなれになった時の避難所			
家族の連絡先	氏名	電話(会社・学校)	住所	メモ		
親戚知人の連絡先	氏名	電話(会社・学校)	住所	メモ		
家族の救急用データ	氏名	生年月日	血液型	アレルギー	常備薬	病歴
緊急連絡先	連絡先	電話	連絡先	電話		

災害用伝言ダイヤル(171)の使い方

災害用伝言ダイヤルとは?

NTTでは、災害発生時に、被災地への通話がつながりにくい状況の場合、被災地内の安否等の情報を音声で録音、再生する「災害用伝言ダイヤル」を設置します。

伝言の録音	171-1-0XXXX-XX-XXXX(電話番号)
伝言の再生	171-2-0XXXX-XX-XXXX(電話番号)
ダイヤルする電話番号	被災地域の人は自宅の電話番号を、または連絡をとりたい被災地域の人の電話番号を市外局番からダイヤルしてください。

録音時間	1伝言あたり30秒以内
伝言登録件数	電話番号あたり1~20件 ※災害状況により、登録可能な件数は異なります
利用可能電話	固定電話、IP電話(050含む)、携帯電話、公衆電話